市長	副市長	技監		部長	課長	主幹	精算	設計

平成25年度 社会資本整備総合交付金事業(まち交) 社市街地地区公園トイレ改築工事(大歳公園) 実施設計書

工 事 番 号　　加建土第 ４９号

施設名等　　大歳公園

工 事 場 所　　加東市 喜田 2丁目 地内

工　　種　　建 築

兵庫県 加東市

内訳				概要
	実施	今回変更	増減額	
設計額 （内消費税額）	円 （　　）	円 （　　）	円 （　　）	■ トイレ改築工事　1．0式
請負額 （内消費税額）	円 （　　）	円 （　　）	円 （　　）	
執行方法	請負	施工日数	平成 26 年 1月 31 日　限り	

（　起工理由　）

都市再生整備計画に基ずき本工を起工する。

番　号	名　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	平成25年度	社会資本整備総合交付金事業　まち交・社市街地地区　公園トイレ改築工事 大歳公園					
A	建築主体工事		1.0	式			
B	電気設備工事		1.0	式			
C	機械設備工事		1.0	式			
D	撤去工事、屋外付帯工事		1.0	式			
E	発生材処分		1.0	式			
	直接工事費計						
F	共通仮設費		1.0	式			
	積上げ分		1.0	式			
	共通仮設費率分		1.0	式			
G	現場管理費		1.0	式			
H	一般管理費		1.0	式			
	小　　計						
	工事価格　計						
	消費税相当額	5%					
	工事費　計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
E	共通仮設費						
1	共通仮設積上分						
	工事施工費 　仮囲い損料	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1.8 ｼｰﾄ貼り	41.4	m			
	仮設建物費 　仮設トイレ	仮設水洗トイレ１棟 　２ヶ月 配管共	1.0	式			
	共通仮設積上分計		1.0	式			
2	共通仮設費率分		1.0	式			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
A	建築主体工事						
1）	直接仮設工事		1.0	式			
2）	土工事		1.0	式			
3）	鉄筋工事		1.0	式			
4）	ｺﾝｸﾘｰﾄ工事		1.0	式			
5）	防水工事		1.0	式			
6）	ﾀｲﾙ工事		1.0	式			
7）	金属工事		1.0	式			
8）	左官工事		1.0	式			
9）	建具工事		1.0	式			
10）	雑工事		1.0	式			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1）	直接仮設工事						
	遣方		9.9	㎡			
	墨出し		9.9	㎡			
	養生		9.9	㎡			
	整理清掃後片付け		9.9	㎡			
	外部足場	単管本足場 H10m未満	71.2	㎡			
	内部仕上足場	並列	9.9	㎡			
	災害防止	ﾒｯｼｭｼｰﾄ	71.2	㎡			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2）	土工事						
	根切り	積込共	29.2	m^3			
	埋戻し	仮置土	16.0	m^3			
	砕石敷	基礎、土間下	3.3	m^3			
	砕石敷	ピット下	1.2	m^3			
	捨ｺﾝｸﾘｰﾄ地業	手間共	0.7	m^3			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3）	鉄筋工事						
	異形鉄筋	SD295A D10	0.9	t			
	異形鉄筋	SD295A D13	0.3	t			
	異形鉄筋	SD295A D16	0.2	t			
	鉄筋組立運搬		1.4	t			
	ｽｸﾗｯﾌﾟ		▲ 1	式			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4）	ｺﾝｸﾘｰﾄ工事						
	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc21-18-20	2.0	㎥			
	打設手間		2.0	㎥			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車		1.0	回			
	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ(基礎)	Fc21-15-20	5.9	㎥			
	打設手間		5.9	㎥			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車		1.0	回			
	躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ(地上)	Fc21-18-20	10.3	㎥			
	打設手間		10.3	㎥			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車		1.0	回			
	型枠		127.0	㎡			
	型枠運搬		127.0	㎡			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
５）	防水工事						
	建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ　15×10	10.0	m			
	打継目地ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ　20×10	14.6	m			
	ＦＲＰ防水	ｻﾝｺｰﾄSR-1同等	11.6	㎡			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
6）	ﾀｲﾙ工事						
	（外部）						
	壁　磁器ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	50角　役物共	51.2	m			
	（内部）						
	床　磁器タイル	100角	8.2	㎡			
	壁　ラスタータイル	50角　役物共	34.6	㎡			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7）	金属工事						
	ｱﾙﾐ廻り縁		15.8	m			
	軽量鉄骨天井下地		7.8	㎡			
	竪樋	SUSφ50 SUS掴み金物共	3.2	m			
	ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ	φ50 ｶﾈｿｳ EXG同等	1.0	ヶ所			
	換気口	杉田ｴｰｽ ﾐｽﾞﾀﾞｽS100SB同等	4.0	ヶ所			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
8）	左官工事						
	壁　ﾀｲﾙ下地ﾓﾙﾀﾙ		85.8	㎡			
	床　ﾀｲﾙ下地ﾓﾙﾀﾙ		8.2	㎡			
	床 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ		14.2	㎡			
	屋上 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ		8.0	㎡			
	建具廻りﾓﾙﾀﾙ詰め	防水モルタル	8.6	m			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
9）	建具工事						
	LSD-1	950×1900	1.0	ヶ所			
	AW-1	670×300	2.0	ヶ所			
	TB-1		1.0	ヶ所			
	ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ板	t=3 乳白	0.2	㎡			
	ｼｰﾘﾝｸﾞ		4.8	m			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
１０）	雑工事						
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積み	A種　t=100	2.7	㎡			
	天井　ｹｲｶﾙ板	t=6　目透し	7.8	㎡			
	天井　EP-G	A種　素地ごしらえA種共	7.8	㎡			
	天板　人工大理石		2.7	m			
	手摺	TOTO　T112C6 I型手摺	1.0	ヶ所			
	手摺	TOTO　T112CL9 Ｌ型手摺	1.0	ヶ所			
	手摺	TOTO　T112HK8 はね上げ手摺	1.0	ヶ所			
	ｱﾙﾐ庇	L2200×D950 共和 ｱﾙﾌｨﾝAF95同等	2.0	ヶ所			
	トイレサイン	平付 200×200 新協和 SK-621SS-2F同等	2.0	枚			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
B	電気設備工事						
1）	引込幹線設備		1.0	式			
2）	電灯ｺﾝｾﾝﾄ設備		1.0	式			
3）	ﾄｲﾚ呼出し設備		1.0	式			
4）	撤去工事		1.0	式			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1）	引込幹線設備						
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CE3.5-3C　ｺﾛｶﾞｼ	5.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CE3.5-4C　管内	5.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CE5.5-2C　F管内	5.0	m			
	電線管	PE22　　露出	6.0	m			
	電線管	PE22　　埋設	6.0	m			
	分電盤改修		1.0	式			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2）	電灯ｺﾝｾﾝﾄ設備						
	電線	EM － IE1.6　F管内	4.0	m			
	電線	EM － IE2.0　F管内	57.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF1.6-2C　ｺﾛｶﾞｼ	5.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF1.6-3C　ｺﾛｶﾞｼ	7.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF1.6-3C　F管内	0.6	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF2.0-3C　ｺﾛｶﾞｼ	2.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF2.0-3C　F管内	2.0	m			
	電線管	ＰＦ16　隠ぺい	10.0	m			
	電線管	PF22　隠ぺい	8.0	m			
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ	2PE15A+1ET	4.0	個			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	四角中浅 ＶＥ　4x44	10.0	個			
	ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾟﾚｰﾄ	新金	1.0	枚			
	照明器具	Ａ　ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	4.0	台			
	照明器具	Ｂ　ﾌﾞﾗｹｯﾄ	2.0	台			
	熱線ｾﾝｻｰ	親機	2.0	個			

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	ｽﾘｰﾌﾞ	φ50	1.0	箇所			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3）	ﾄｲﾚ呼出し設備						
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-AE1.2-2C　F管内	4.0	m			
	電線管	ＰＦ16　隠ぺい	4.0	m			
	ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽ	四角中浅 ＶＥ　4x44	2.0	個			
	埋込押釦・ﾌﾟﾙｽｲｯﾁ付	ＷＳ65771	1.0	個			
	警報ﾌﾞｻﾞｰ・ﾗﾝﾌﾟ付	ＥＡ5501	1.0	個			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4）	撤去工事						
	撤去工事		1.0	式			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
C	機械設備工事						
1）	給水設備工事		1.0	式			
2）	排水設備工事		1.0	式			
3）	衛生機器設備工事		1.0	式			
4）	換気設備工事		1.0	式			
5）	撤去工事		1.0	式			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1）	給水設備工事						
	耐衝撃性塩化ビニール管	地中埋設　HIVP20A	7.0	m			
	耐衝撃性塩化ビニール管	便所配管　HIVP20A	15.0	m			
	仕切弁	20A	2.0	個			
	バルブボックス	VC-P	2.0	個			
	既設配管接続	20A	1.0	箇所			
	保温工事		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2）	排水設備工事						
	硬質塩化ビニール管	地中埋設　VP100A	6.0	m			
	硬質塩化ビニール管	地中埋設　VP75A	2.0	m			
	硬質塩化ビニール管	便所配管　VP100A	4.0	m			
	硬質塩化ビニール管	便所配管　VP75A	4.0	m			
	硬質塩化ビニール管	便所配管　VP65A	1.0	m			
	硬質塩化ビニール管	便所配管　VP50A	2.0	m			
	硬質塩化ビニール管	便所配管　VP40A	6.0	m			
	床上掃除口	COA-100	2.0	個			
	床上掃除口	COA-80	2.0	個			
	ベンドキャップ	BBA-50	1.0	個			
	小口径桝	90L　100-150	1.0	組			
	小口径桝	90Y　100-150	3.0	組			
	既設配管接続		1.0	箇所			
	土工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3）	衛生機器設備工事						
	車いす対応便器	ＣＳ２０ＡＢ	1.0	組			
	腰掛便器	ＣＳ７０Ｂ	1.0	組			
	自動洗浄小便器	ＵＦＳ８００Ｃ	1.0	組			
	掃除用流し	ＳＫ２２Ａ	1.0	組			
	洗面器	Ｌ２７０Ｄ	2.0	組			
	盗難防止形化粧鏡	ＴＳ１１９ＡＥ５	2.0	枚			
	小物収納パネル	ＵＴＲ４２１	1.0	個			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4）	換気設備工事						
	天井扇	FE-1　130m3/h	2.0	台			
	スパイラルダクト	100φ	2.0	m			
	スリーブ工事		1.0	式			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5）	撤去工事						
	既設トイレ機器撤去	配管共 仮設配管共	1.0	式			
	プラ撤去		0.03	t			
	陶器撤去		0.13	t			
	金属撤去		0.01	t			
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
D	撤去工事、屋外付帯工事						
	既存便所撤去	基礎共	1.0	式			
	低木撤去	低木 1.0m以下	4.5	㎡			
	小計						
	ｺﾝｸﾘｰﾄ会所新設	既製品 300角 300～600	1.0	ヶ所			
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ会所蓋	T-2 亜鉛ﾒｯｷ	1.0	枚			
	真砂土敷き	厚5cm	23.6	㎡			
	小計						
	合計						

番　号	名　　称	内　　容	数　　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
E	発生材処分						
	運搬費						
	発生材集積・積込み	ｺﾝがら等	1.7	m^3			
	発生材集積・積込み	植物	2.2	m^3			
	発生材集積・積込み	木	0.3	m^3			
	発生材運搬	ｺﾝがら等	1.7	m^3			
	発生材運搬	植物	2.2	m^3			
	発生材運搬	木	0.3	m^3			
	建設発生土		12.9	m^3			
	小計						
	処分費						
	発生材処分	ｺﾝがら等	4.1	t			
	発生材処分	植物.木	0.02	t			
	発生土処分		22.0	t			
	小計						
	合計						

平成２５年度 社会資本整備総合交付金事業
（まち交）社市街地地区 公園トイレ改築工事

（大歳公園）

	表紙・図面リスト				
A-01	特記仕様書（１）	E-01	電気設備改修図	M-01	機械設備特記仕様書
A-02	特記仕様書（２）	E-02	電気設備現況図	M-02	現況撤去図
A-03	配置図			M-03	改修後配置図、平面図
A-04	現況撤去図				
A-05	平立断面図・天井伏図・屋根伏図				
A-06	平面詳細図・断面詳細図				
A-07	建具表				
A-08	構造図				

建築工事新設特記仕様書

※設計図書優先順位
①現場説明書　②特記仕様書　③設計図　④共通仕様書

Ⅰ　建築工事仕様書
1　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書最新版」（以下共通仕様書）による。
2　特記仕様
（1）項目は番号に○印のついたものを適用する。
（2）特記事項は○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は共に適用する。
（3）項目に記載の（　）内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目を示す。
（4）材料及び製造所等の記載は順不同である。

1 一般共通事項

章	項目		特記事項
①	適用範囲 適用基準等	（1．1．1）	※本仕様書は、建築物等の新築及び増改築等に係わる建築工事に適用する。
②	発生材の処理等	（1．1．13）	※発生材の処理は、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理および清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針、その他関係法令によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理し監督職員に報告する。 ※廃棄物処理を委託する場合には、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と「建設廃棄物処理委託契約書」により書面で委託契約を締結しなければならない。また、契約締結後は速やかに建設廃棄物処理委託契約書の写しを工事監督員に提出しなければならない。 ※産業廃棄物が委託内容どおり処理されたことを確認するものとして、「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」を使用しなければならない。また、運搬車両ごとに処分（中間処理）が済み次第、速やかにＡ票、Ｂ２票、Ｄ票の写しを工事監督員に提出し、最終処分等については、確認出来次第、速やかに確認資料（Ｅ票等）の写しを、工事の完了に関係なく、工事監督員に提出するものとする。 ・工事着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、工事監督員の承諾を得ること。 ・竣工検査時までに「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること ・引き渡しを要するもの（　　） ・現場において再利用を図るもの（　　） ・再生資源化を図るもの　・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材 ・特別管理産業廃棄物（図示による）
③ ④ 5	建築材料等 材料の検査等	（1．4．1）	※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するものはこれらと同等以上のものとする。 ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ・現場に搬入した材料は、種別ごとに監督職員の検査を受ける。 ※設計図書に定める１ＪＩＳ又は１ＪＡＳのマーク表示のある材料並びに規格、基準等の規格証明書が添付された材料は、設計図書に定める品質及び性能を有したものとして取り扱うことができる。 ※建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 ・監督職員と協議した対象室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。内装材、有機溶剤含有接着剤・塗料はF☆☆☆☆を用いる。 測定物質　※ホルムアルデヒド※アセトアルデヒド※トルエン※キシレン※エチルベンゼン※スチレン ・パラジクロロベンゼン 測定箇所（室） 測定法　・検知管法　・検知紙法　・定電位電解法　・吸光光度法 ※高速液体クロマトグラフ法（ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド）及びガスクロマトグラフ法（トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン） 採取方法　※拡散方式（パッシブ方式）　・吸引方式（アクティブ方式） ※木工事用接着剤　接着剤に含まれている可塑剤は、難揮発性のものとする ※木材保存剤　非有機リン系とする ※塗料材料　ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする ※内装工事用接着剤　壁紙、ビニル床シタイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとし、可塑剤は、難揮発性のものとする （上記によりがたい場合は、監督員との協議による。）有機溶剤含有の接着剤・塗料等はMSDSを現場に常備する事。
⑥	工事関係図書 （提出書類）		下記に定める図書等を監督職員に提出し承諾を受ける。監督職員は下記に定める他、必要な図書の提出を求めることがある。 ○工事請負契約書等（契約時）2部　○契約工程表（契約時）2部　○詳細工程表（工程会議時）2部　工事期間中 ○請負代金内訳書（契約後7日以内）2部　○損害保険契約書及び保証書等（契約後7日以内）2部 ○現場代理人、監理技術者、専門技術者届（契約後7日以内）2部経歴書、資格を記す ○コリンズ登録写（契約後7日以内）2部　○現場常駐職員届（契約書7日以内）2部 経歴、資格を記す ○総合施工計画書（契約後14日以内）2部　○施工計画書 施工体制台帳・体系図（当該工事着手7日前）2部 ○下請業者承認願（その都度）2部　○施工図（施工前 7日前）2部　○使用材料機器等承諾（その都度）2部 ○材料試験機関報告書（その都度）2部　○見本（その都度）2部 種類と形状　○工事記録報告書（月報として毎月5日）2部　○打ち合わせ記録簿（その都度）2部　○変更工事見積書（その都度）2部 ○出来高承認願（その都度）2部　○工事竣工検査願（工事完了時）2部　自主検査報告書添付 ○工事写真（その都度）2部 ｶﾗｰ(300万画素以上),ｻｰﾋﾞｽ版
⑦	ＣＡＤデータ		・ＣＡＤデータは有償で配布する。（五会合協定による）
⑧	完成時の提出書類	（1．7．1）	※完成図　Ａ－２版の２つ折り製本を　２　部、○底図図　○構造図　○設備図）とし、原図と共に提出。 原図：設計図書の原図訂正を可とする。（・ＣＡＤデータによる場合は、協議のこと） ●工事竣工引渡書（竣工時）1部 ｛完了届、引渡書、検査証書、官公庁届出控、工事保証書、鍵取1個、工具箱1個 鍵引渡書、備品引渡書、取扱説明書｝
⑨	完成写真		竣工写真アルバム（竣工時）1部　専門家撮影による。キャビネ版（ｶﾗｰﾍﾟﾀｰﾊﾟｰ級） 完成写真の撮影業者　※監督職員の承諾する撮影業者
10	技能士	（1．5．2）	・適用する　・適用しない
① ② ③	設備工事との取り合い 工事責任者 その他		○設備機器の取合等の検討できる施工図を提出して承諾を受ける。 ※責任者の条件　（２級建築施工管理技師で元請負業者と直接的、恒常的な雇用関係がある事）
			○現場には必ず設計図・見積書・共通仕様書を各１部おいておくこと ○工事のたの関家、遠行者、第三者等への損害、補償及び維都は請負業者の負担とする。 ○近隣に対して苦工前に適切な処置をなし、工事の円滑を計るようにする。 ○設計図書に指示る事項であっても、施工者が適当でないと認めたものは、事前に訂正を申し出て、係員の指示・決定通り施工すること。適当でないと知りつつ施工してはならない。 ○工事用車輌の出入口には必要に応じ警備員を配置し、通行人や車両への配慮を十分に行うこと。 ○搬出に配慮した仮設計画を作成し、係員の承諾を受ける事。 ○工事に必要な申請は請負業者が行う事。

2 仮設工事

①	仮設建物		○現場事務所　○要　・不要　（規模　　） ○係員詰所　・要　○不要　（規模　　） 構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　○利用できない 構内既存の施設　・利用できる（※有償　・無償）　○利用できない
② ③	工事用水 工事用電力		
④ ⑤	表示板及び仮囲い		●表示板　・工事名称：設計及び監理事務所名・施工者名を係員の指示により取付ける。 ○仮囲い（○フェンスパリケードH＝１．８m（シート貼り）・亜鉛鉄板H＝２．０m　）延べ約　　m 門　（・シートゲート　・パネルゲート）　W＝5.4 m×H＝4.5 m　（　１　）箇所　・鋼板扉 厚22mm
⑥	その他		●騒音の発生する工事は、土日に行なわないこと。 ●工事上搬去、移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。 ●工事施工にあたり、付近住民・通行人・工作物に損害を与えないよう必要な保護設備を計画し係員及び各関係人の承諾を得て施工する。万一損害を与えた場合は速やかに応急手当、復旧しこれに要した費用は請負者の負担とする。

3 土工事

①	根切り	（3．2．1）	※根切り底は、地盤を掘乱しないように慎重し、かく乱した場合は適切な処理を定め監督職員の検査を受ける。
② ③	埋戻し及び盛土	（3．2．3）	種別・A種（山砂及び良質花崩土の類）○B種（根切土の中の良質土）・C種（他現場の建設発生土の中の良質土）・D種（再生コンクリート砂）
④	建設発生土の処理	（3．2．5）	※（注）埋戻し及び盛り土は、各層３００mm程度ごとに締め固める。 ※構外搬出適切処理　・（・構外　・構内）指示の場所に敷き均し ・（・構外　・構内）指示の場所に堆積　・構外指示の場所に処分
4	その他		・

4 地業工事

1	試験杭及び試験掘削	（4．2．2）	※位置・本数は、基礎伏図による。また、仕様は、本杭と同じとする。 ※プレボーリング工法にて、先に試験掘削を行い地層を確認する。
2	既製コンクリート杭　地業 ※杭施工管理技術者を置く	（4．3．1～5）	工法　※　特定認定杭工法 杭の種類

種類の記号	※ＰＨＣ杭		
品質	※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種		
寸法（Ｄmm×Ｌm）			
継手の断面数	箇所		
先端部の形状	※開放形　・		

地業工事

3	場所打ちコンクリート杭　地業	（4．5．1～4）	継手の方法　※アーク溶接　（半自動溶接）　・無溶接継手 杭頭の処理　※行わない　・行う 工法　・アースドリル工法　・リバース工法　・オールケーシング工法 掘削深さ（m）　※図示による 断面寸法（mm）　※図示による

※杭施工管理技術者を置く

コンクリート設計基準強度　※２１Ｎ／mm

コンクリートの種別	・Ａ種	※Ｂ種
水セメント比の最大値	６０%以下	５５%以下
所要スランプ　cm	１８	
粗骨材の最大寸法　mm	２５（砕石の場合２０）	
単位セメント量の最小値	３１０	３４０
備考	無水張り	左記以外

表４．５．１
※コンクリートの種類　※普通コンクリート
※調合強度には温度補正、強度の割増しは不要。

4	地質確認	（4．6．2～4）	※直接基礎の場合試験堀を行い、地層地質の確認を行う。
③	砂利地業		使用材料　※切込み砂利、切込み砕石又は再生クラッシャランとし粒度はＣ－４０程度とする。
④	床下防湿層	（4．6．6）	○ポリエチレンフィルム等で厚さ０．１５mm以上、重ね幅縦横共２５０mm以上 ・土間フォーム（旭ダウ同等品）Ｂ－２　ｔ＝２０防湿フィルム付 ※使用箇所は（・建物内土間下全域　・建物内土間下全域　　）とする。
⑤	捨コンクリート地業	（4．6．5）	厚さ　６０mm　※図示による
⑥	その他		・構造特記による

5 鉄筋工事

1	鉄筋	（5．2．1）	

種類の記号	径　（mm）	使用箇所
※ＳＤ２９５Ａ	Ｄ１６以下	
※ＳＤ３４５	Ｄ１９以上	
・		
・		
・		

②	溶接金網	（5．2．2）	寸法　※６．０φ×１５０×１５０　施工箇所（　土間　　）
③	鉄筋の継手	（5．4．1）	※ガス圧接継手（Ｄ１９以上）　※ガス圧接継手　・ガス圧接　・特殊継手）　※重ね継手（Ｄ１６以下）
4	圧接完了後の試験	（5．4．9）	※外観試験　（全圧接部）
⑤	その他		※抜取り試験　※超音波探傷試験　・引張り試験）　構造特記による ※その他の事項については、別紙「鉄筋コンクリート設計標準図」による。 構造特記による

6 コンクリート工事

①	コンクリートの類別	（6．1．3）	※普通コンクリート　・軽量コンクリート　（・１種　・２種）
②	材料及び調合の条件	（6．1．5） （6．2．4） （6．3．3） （6．3．5）	レディーミクストコンクリートの類別　※Ⅰ類（ＪＩＳ表示許可工場）　・Ⅱ類 セメントの種類　※　普通ポルトランドセメント又は混合セメントＡ種　・早強ポルトランドセメント ・高炉セメントＢ種（使用する場合は監督員と協議） 骨　材　砕石と砕砂の種類　※　Ａ種 混和材料　※　混和剤　ＡＥ剤、ＡＥ減水剤（ＪＩＳ規格品）又は高性能ＡＥ減水剤（ＪＩＳ相当品） ※　混和材　フライアッシュ、高炉スラグ微粉末又は膨張材（ＪＩＳ規格品）

（6．1）（6．2）（6．6．11）

※材料及び調合の条件	普通コンクリート	軽量コンクリート
単位水量の最大値　kg/m3	※１８５　・２００	※１８５　・２００
単位セメント量の最小値　(kg/m3)	※２７０	※３２０ ※３４０（常時土、水に接する部分）
水セメント比　(%)	※６５以下（Ｂ種．６０以下）	※５５以下
所要空気量　(%)	※４．５	※５
塩化物総量規制　kg/m3	※０．３以下　０．３～０．６以下	※０．３以下　０．３～０．６以下
気象単位容積重量　(t/m3)	※２．３程度	※１種　１．７～２．１　・２種　１．４～１．７
細骨材の絶対容積　(m3)	※０．０４以下　・０．０４～０．１以下	※０．０４以下　・０．０４～０．１以下
粗骨材の最大寸法　(mm)	※２５（砕石の場合２０）	※１５
アルカリ総量	※３．０ｋｇ／ｍ3 以下	※３．０ｋｇ／ｍ3 以下

③	コンクリートの種類と強度	（6．1．3）（6．1．4）	適用箇所	種類	設計基準強度（Ｆｃ）２（Ｎ／mm）	スランプ（cm）		
			捨て（均し）コンクリート	○普通	・16　○18	・12		
			土間コンクリート	○普通	・18　○21	・15	○18	
			基礎	○普通	・18　○21　・24　・27	・15	○18	
			柱・梁・床・壁	・普通　・軽量	・18　・21　・24　・27	・15　・18　・21		
				・普通　・軽量	・18　・21　・24　・27	・18　・21		
				・普通　・軽量	・18　・21　・24　・27	・18　・21		
				・普通　・軽量	・18　・21　・24　・27	・18　・21		
			押えコンクリート	・普通　・軽量	・16　・18	・12　・15　・18		

※Ｆｃ＝２７は高強度コンクリートの適用を受ける

④	調合強度	（6．4．5）	調合強度＝設計基準強度（Ｆｃ）＋供試体強度の割増（√Ｆ＝３Ｎ）＋温度補正（Ｔ） ※下記のコンクリートは（√Ｆ）、（Ｔ）の摘要を除外する。 ・仕上げコンクリート及び捨て（均し）コンクリート

⑤	温度補正	（6．4．1）	※気温によるコンクリート強度の補正値（Ｔ）は下記による

打ち込み期間	１０月１０日～１１月２４日及び３月１日～４月１８日	１１月２５日～２月２８日
温度補正値　Ｔ	３　（Ｎ／mm2）	６（Ｎ／mm）

⑥	コンクリートの強度試験	（6．10．4）	試験回数　※共通仕様書による（１回（３本セット）／１５０m3 毎）		
			供試体の圧縮強度試験	養生方法	材令　　試験場
			試験りの調合強度の確認試験	・標準養生　・現場水中養生	・７日又は２８日　・公的試験場　・民間試験場
			調合強度の管理試験	・標準養生　・現場水中養生	・７日　・２８日　・公的試験場　・民間試験場
			構造体強度の推定試験	・標準養生　○現場水中養生	○７日　○２８日　○公的試験場　・民間試験場
			型枠取外し時期の決定	・標準養生　・現場水中養生	必要に応じて定める　・公的試験場　・民間試験場

⑦	コンクリートの仕上り及び型枠	（6．2．4）（6．2．5）	※せき板の材料（※厚さ１２mm）コンクリート型枠用合板の日本農林規格品

種別	コンクリート表面の打放し仕上げの仕上がり程度等	参　考
・Ａ種	目違い、不陸等の極めて少ない良好な面	１種の表面加工品
※Ｂ種	目違い、不陸等の少ない良好な面をグラインダー掛け等により平滑に調整	１種の表面加工品以外
・Ｃ種	打放しのまま、目違いばらいを行ったもの	２種（普通型枠）

※床型枠用鋼製デッキプレートの使用は監督職員の承諾を得ること

⑧	スリーブの材料	（6．9．1）	※スリーブに用いる材料は共通仕様書による。但しやむを得ない場合、承諾を受けて紙チューブを使用できる。
⑨	型枠の存置期間	（6．9．5）	※共通仕様書による
10	高強度コンクリート	（6．15）	※設計基準強度（Ｆｃ）が２７Ｎ／mm2 以上、３６Ｎ／mm2 以下の普通コンクリートについては共通仕様書による
○1	その他		・構造特記による

7 鉄骨工事

1	鉄骨製作工場	（7．1．3）	※監督職員の承諾する製作所・国土交通大臣認定（・Ｓ・Ｈ・Ｍ・Ｒ・Ｊ・　）以上
2	鉄骨製作管理技術者	（7．1．4）	※適用する　・適用しない
3	鋼材	（7．2．1）	鋼材の材質・規格

鋼材（規格名称）	※ＪＩＳ規格品　・規格品以外		
	種類の記号　（材質）		使用箇所
・一般構造用圧延鋼材	・ＳＳ４００　・ＳＳ４９０　・ＳＳ５４０		
・一般構造用軽量形鋼	・ＳＳＣ４００		
・一般構造用角形鋼管	・ＳＴＫＲ４００・ＳＴＫＲ４９０		
・一般構造用炭素鋼管	・ＳＴＫ４００　・ＳＴＫ４９０		
・建築構造用圧延鋼材	・ＳＮ４００（・Ａ・Ｂ・Ｃ）　・ＳＮ４９０（・Ｂ・Ｃ）		
・建築構造用炭素鋼管	・ＳＴＫＮ４００（・Ｗ・Ｂ）　・ＳＴＫＮ４９０Ｂ		
・溶接構造用圧延鋼材	・ＳＭ４９０（・Ａ・Ｂ・Ｃ）　・ＳＭ５２０（・Ｂ・Ｃ）		
・建築構造用圧延鋼材	・ＳＮ４００（・Ａ・Ｂ・Ｃ）　・ＳＮ４９０（・Ｂ・Ｃ）		
・建築構造用冷間成形角形鋼管	・ＢＣＲ２９５ＢＣＰ２３５・ＢＣＰ３２５		
・デッキプレート	・ＳＤＰ１　・ＳＤＰ１Ｇ　・ＳＤＰ２　・ＳＤＰ２Ｇ		

5	高力ボルト 普通ボルト アンカーボルト	（7．2．2）	※トルシア型高力ボルト　セットの種類　※２種（Ｓ１０Ｔ） ・ＪＩＳ型高力ボルト　セットの種類　※２種（Ｆ１０Ｔ） ・溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類　※１種（Ｆ８Ｔ相当） ・普通ボルト　セットの種類　※並型六角ボルト（４Ｔ）　・ ・アンカーボルト　セットの種類　・並型六角ボルト（ＳＮＲ４００Ｂ）　・露出型弾性固定柱脚工法

6	工作一般	（7．3．1）	現寸図　※必要に応じて作成する。
7	溶接接合	（7．6．2） （7．6．7） （7．7．8）	溶接施工管理技術者　※置く　・置かない 目揃えとなるエンドタブ　※５～１０mm残して切断（共通仕様書による） 見掛りとなるエンドタブ　※切除する（共通仕様書による） デッキプレートの溶接　・焼抜き栓溶接（ＱＬ等）　・アークスポット溶接 スカラップ　※新スカラップ型とする。　・図示による
8	溶接部の試験	（7．6．11）	

試験の種別	試験箇所	試験数	備考
・浸透探傷試験	完全溶け込み溶接部	※全数	第３者検査機関
※超音波探傷試験	完全溶け込み溶接部	※全数	第３者検査機関
・			

表１８．３．１

部位・適用		種別	塗料の名称	規格番号
・鉄面	・屋外	※Ａ種	・鉛丹さび止めペイント	ＪＩＳ　Ｋ　５６２２
			・無酸化鉛さび止めペイント	ＪＩＳ　Ｋ　５６２３
			・塩基性クロム酸鉛さび止めペイント	ＪＩＳ　Ｋ　５６２４
			※シアナミド鉛さび止めペイント	ＪＩＳ　Ｋ　５６２５
	・屋内	※Ｂ種	・一般用さび止めペイント	ＪＩＳ　Ｋ　５６２１
		・Ａ種	・鉛酸カルシウムさび止めペイント	ＪＩＳ　Ｋ　５６２９
・亜鉛めっき面		※Ｂ種	・変性エポキシ樹脂プライマー	ＪＡＳＳ　１８　Ｍ－１０９

10	耐火被覆材の種別、性能	（7．5．2）	種別　・ラス張りモルタル塗り　・耐火被覆材　・耐火材張り　・耐火塗料 性能　・１時間耐火
11	アンカーボルトの埋込工法		・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・露出型弾性固定柱脚工法（・ベースパック　・ハイベース）　（7．10．3）
12	柱底りモルタル工法	（7．10．3）	※Ａ種（無収縮モルタル）　・Ｂ種（参照　鉄骨設計標準図）
13	鋼材の溶融亜鉛めっき	（7．12．3）	種別　※Ａ種（軽量形鋼は、板厚によりＢ種・Ｃ種とする）
14	その他		構造特記による

8 押出成形セメント板工事（コンクリートブロック・ＡＬＣパネル）

①	コンクリートブロック	（8．2．2）（8．3．2） （8．3．7）	

適用箇所	種類の記号
・間仕切壁、地下二重壁、外壁、Ｈ２．２m以下の塀	空洞ブロック１６　（Ｃ種　普通ブロック）
・外壁の化粧積み	空洞ブロック１６－Ｗ　（Ｃ種　防水ブロック）
○段備配管用ブロック積み（ラインニング）	空洞ブロック０８　（Ａ種　普通ブロック）

壁の配筋　※下記による　・図示による

用途	主筋	配力筋	補強筋
※内壁	Ｄ１０－４００※	Ｄ１０－４００※	※張壁の交差部及び端部（開口部）
※外壁	Ｄ１３－４００※	Ｄ１０－４００※	の補強筋はＤ１３とする。

2	ＡＬＣパネル	（8．4．2～6）	種類	厚さ	単位荷重（Ｎ／m2）	工法種別
			・外壁用	※１００　・１２５	・１１７７　・１９６１	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・Ｅ種
			・間仕切用	※１００　・１２５	※６３７	・Ｆ種　・Ｇ種
			・屋根用	※１００　・１２５	※９８１	（8．4．6）による
			・床用	・１００　・１５０	・２３５４　・３５３０	（8．4．6）による

※図示以外のＡＬＣパネル受材は、ＡＬＣパネル工事とする。
・伸縮目地割り及び目地材次項　・

3	押出成形セメント板	（8．5．2～5）	※厚物（厚さ３５mm以上）　種類　※無石綿タイプ（タイプⅡ）

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	取付工法	耐火性能
・外壁	※フラットパネル	・３５　・５０　・６０	・Ａ種	・２時間耐火　・１時間耐火
	・デザインパネル（図示）	・５０　・６０	・Ｂ種	・３０分間耐火
	・タイルベースパネル	・６０		・無し
・間仕切り	※フラットパネル	・３５　・５０　・６０	・Ｂ種	・無し
	・デザインパネル（図示）	・５０　・６０	・Ｃ種	・２時間耐火　・１時間耐火
	・タイルベースパネル	・６０		・３０分間耐火

・薄物（厚さ３５mm未満）　種類　※無石綿タイプ

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	耐火性能
・	※フラットパネル	・	・無し
	・デザインパネル（図示）		・有り（　　）

4	その他		・

9 防水工事

①	防水の種類と種別		

防水の種類	種別	施工箇所
・ウレタン防水	・Ｋ－２	
・シート防水	・Ｓ－Ｐ２	
○ＦＲＰ防水		

2	漏水試験と防水保証		※水張試験を行う。防水保証年限（　１０）年とし、防水施工業者と請負業者との連帯保証書を提出する。
③	シーリング用材料	（9．6．2）	下表以外は表９．６．１による

施工箇所	シーリング材の種類（仕上げなし）		シーリング材の種類（仕上げあり）	
・打継目地		×	ポリウレタン	２０　×　１０
・ｺﾝｸﾘｰﾄとサッシ		×	変成シリコン	１５　×　１５
・		×		×
・		×		×

④ 5	シーリングの試験 その他	（9．6．5）	接着性試験（試験成績表がある場合は不要）　●簡易接着性試験　・引張接着性試験 ・

10 石工事

1	石工事	（10．2．1）	※天然石　品質　※１等品（床以外）　※２等品（床）

施工箇所	種類・産地・名称	仕上の種類
・玄関　床見切	・花崗岩　ｲﾝﾍﾞﾘｱﾙﾊﾞﾗﾝ	・本磨き・水磨き・粗磨き・ＪＢ仕上
・	・	
・	・	
・	・	

・テラゾブロック及びテラゾタイル　表面仕上げ　※本磨き・水磨き・粗磨き
製造所　※監督員の承諾する製造所

表１０．２．４

2	取付け金物	（10．2．2）	乾式工法用金物は　・スライド方式　・ロッキング方式
3	その他の材料	（10．2．3）	・石裏面補強材　※適用する（　　） ・裏打ち処理材　※適用する（小口共　　） ・ドレインパイプの材質（　　） ・金物固定充填材料（　　）
4	その他		・

11 タイル工事

1	伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地	（11．1．3）	外壁　※図示による他、下記による。

	垂直方向	水平方向
柱形のない場合	柱の両側又は開口端部上下及び中間３～４m程度	各階ごと打継目地の位置
柱形のある場合	柱形の両端及び中間３～４m程度	

屋内　※屋内のタイル張りにおいては、入隅部及び建具枠周囲に伸縮調整目地を設ける。

②	材料	（11．2．1～3）	

タイルの種類	参考商品名
・１開ピロティ　磁器質ﾀｲﾙ100×100	・ＩＮＡＸ　ｶﾙﾄﾞ
・玄関ポーチ　磁器質ﾀｲﾙ100×100	・ＩＮＡＸ　ｶﾙﾄﾞ
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

役物使用箇所	・内装	・出隅　・天端
	・外装	・一体成形品（標準曲がり）・接着成形品（●）役表

タイルの見本焼き　※行わない　・行う
タイルの見本張り　・行わない　※行う
保水剤、既調合モルタル、化粧目地用調合モルタル　※監督職員の承諾を受けたもの

CHECKED BY	DESIGNED BY	DRAWN BY	SCALE	NO SCALE	CONSTRUCTION NAME	平成25年度 社会資本整備総合交付金事業 まち交・社市街地地区 公園トイレ改築工事
			DATE	平成　年　月　日	PLAN NAME	特記仕様書（１）

株式会社　パンス　加西本店
1級建築士登録　第243480号　半澤　協

No. A-01

タイル工事

3 陶磁器質タイル張り（１１．３．２～３）
施工方法 ・図示 ・外壁
適用タイル ・小口タイル ・二丁掛タイル ・割り石タイル
躯体表面処理 ・２階以上行う ・行わない
躯体表面処理の工法
・ＭＣＲ工法
ＭＣＲ工法の仕様によるシート 製造所もしくは販売店の仕様による。
施工箇所の躯体の増ちは、図示による。
・目荒し工法
高圧水洗による目荒しは、５０Ｎ／mm2 の水圧で２．５分／m²程度とし、仕上がり面の程度は監督職員の承諾を受ける。
施工箇所の躯体の増ちは、図示による。
下地モルタル塗 ※モルタル ・ポリマーセメント モルタル ・行わない
ポリマーセメント モルタルの調合は、１５．２．３（ｂ）による。
工法 ※密着工法 ・圧着工法
・INAX、淡陶、又は同等以上とし、係員が承認するもの。

4 製造所等

木工事

1 木材の断面寸法（１２．１．３） ※木材の断面を表示する寸法は、引出し線で部材断面（横寸法×縦寸法）が示されている場合はひき立て寸法とし、寸法線で部材寸法が記入されている場合は仕上がり寸法とする。

2 木材（１２．２．１） 木材の品質 ・日本農林規格品（ＪＡＳ）・

使用部種	造作材	・ 図示 ・		構造材、下地材	・ ・

※構造材及び下地材の等級は下記による。

使用箇所	等級		備考
化粧の場合の和室の柱の見掛かり	※上小節	・	針葉樹の造作用製材 心持ちの場合は背割りを行う
小屋材及び吊木受けが丸太の場合	※２等	・	素材 皮はぎ材
上記以外の構造材及び下地材	※２級	・	針葉樹の構造用製材 針葉樹の下地用製材

※造作材の等級は下記による。

使用箇所	部材名称	※Ａ種	・Ｂ種
生地のまま又は透明塗料塗りの場合	枠、額縁、敷居、鴨居、框の類	上小節（見掛かり面）	小節
	掛け、戸襖等の内面造作の類	小節	小節
不透明塗料塗りの場合		小節	小節

※樹種は図面や特記による他は、下記による。 ※代用樹種の使用 ・認めない ・認めない

区分	樹種	代用樹種
構造材	・杉	ひのき、ひば、米ひば、米ひば、台ひ、から松、米松、米つが
	・杉	もみ、つが、米つが、米どうひ、米栂材、米もみ、えぞ松、とど松
	・ひのき	ひば、米ひ、米ひば、台ひ
造作材	・杉	もみ、米どうひ、米つが、米もみ、えぞ松（米松及び米栂材）
	・松	ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ、米つが
	・ひのき	ひば、米ひ、米ひば、台ひ
下地材、壁、天井下地、野地板	・杉	もみ、つが、えぞ松、とど松、米つが、米もみ、米栂材、
軒回り材、壁下、下張用床板等	・松	ソ連えぞ松、米杉

（注）造作材の（米杉及び米栂）は、不透明塗料塗りをする場合に限り代用できる。

3 集成材 （１２．２．２）

区分	規格・品質	主要用途	単材、面材の規格	単材 面材の厚さ
・造作用集成材	※1 等 ・２等	手すり、笠木、カウンター	単材：たも ・しおじ	10～15mm以上
・化粧ばり造作用集成材	※1 等 ・２等	敷居、框、階段踏板、床板	面材：ひのき・杉	1.5mm以上
	※1 等 ・２等	鴨居、長押、落し掛け	面材：ひのき・杉	0.6mm以上
・化粧ばり構造用集成材	※1 等 ・２等	柱	面材：ひのき・杉	1.2mm以上

構造用集成材 ※構造用集成材（構造用大断面集成材、構造用集成材）に限っては、別記による。
※ホルムアルデヒド 放散量はＦｃｏとする。
4 防腐処理 （１２．２．８） ・行わない ※行う（ＪＩＳ Ｋ１５７０クレオソート油2 回塗り ）
5 防虫処理 （１２．２．９） ・行わない ※行う（ ）
6 防虫処理 （１２．２．１０） ・行わない ※行う（ラワン材を使用する場合、ＪＡＳ規格品の保存処理Ｋ１）
7 その他 ・

屋根及びひさし工事

1 長尺金属板葺（１３．２．２～３）

屋根葺き形式	参考メーカー名	材種	板厚（mm）
・平葺		※※装飾用亜鉛めっき鋼板	一般部
・		・ポリ塩化ビニル被覆金属板	・０．３５ ※０．４
・瓦棒葺		・カラーガルバリウム鋼板	・０．６ ・
・		・	谷部
・		・	・０．３ ※０．４
・		・	・ ・

2 折板葺 （１３．３．２～３）

材料	板厚（mm）	寸法	形式	軒先面戸板	断熱材	耐火性能
※カラーガルバリウム鋼板（エコテイ）	※０．６ ・０．８	山高 85 mm ピッチ mm	・重ね形 ・はぜ締め形	・有り ・無し	・無し	・３０分耐火 ・無し
※カラーガルバリウム鋼板（物置）	※０．６ ・０．８	山高 85 mm ピッチ mm	・重ね形 ・はぜ締め形	・有り ・無し	・有り（種別 発泡ポリエチレン厚 4.0mm）	

専門工事業者 屋根葺き 専門工事業者 ※製造所の指定業者とする。
5 とい （１３．６．２） 材種 ・配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管（ＶＰ） ●カラーＶＰ ・ステンレス既製品
鋼管製といの防露 ・行う （表１３．６．５） ・行わない ※屋内のみ行う
とい受け金物 ※伸縮品（表１３．６．２）

4 鋼管製といの防露巻工法部等の処理 （１３．６．３） 防露部 ステンレス（ＳＵＳ３０４、厚さ０．２mm）で被覆する 表１３．６．５
高さ（mm） 床 ※１５０mm 天井 ※ ３０mm
防露を行わない場合 ステンレス製ベーリングプレートを取り付ける（ 床、天井共）

5 その他 ・スレート 波板葺、粘土瓦葺については共通仕様書による。

金属工事

1 あと施工アンカー（１４．１．３） 引抜き 耐力の確認試験 ※試験の簡易引抜試験
※設計用引張強度：メーカーによりアンカー筋の母材強度が確認されたもの
・接着系（ポリエステル系、エポキシアクリエート 系、エポキシ系）

2 ステンレスの表面仕上げ （１４．２．１）

種別	施工箇所	種別	施工箇所
※ＨＬ程度	特記なき箇所	・	
・２Ｂ程度		・	
・鏡面仕上げ		・	

3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 （１４．２．２）

種別	表面処理	施工箇所
・Ｂ－１種（ 無着色）	無着色陽極酸化塗装複合皮膜（９＋７）	
・Ｂ－２種（ カラー）	着色陽極酸化塗装複合皮膜（９＋７）	

Ｂ－２種の色彩 ・ブロンズ系 ・ブラック系 ・ステンカラー系

4 鉄の亜鉛めっき （１４．２．３）

表面処理方法	種別	地域	種類	記号又は等級	最少板厚mm	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	海岸等	２種	ＨＤＺ５５	４．５以上	
	・Ｂ種	工業地帯	２種	ＨＤＺ４５	３．２以上	
	●Ｃ種	標準	２種	ＨＤＺ３５	１．６以上	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	屋外ボルト	２種	５級	―	
	・Ｅ種	屋内一般	２種	４級	―	
	・Ｆ種	屋内箱抜	２種	３級	―	

5 金属成形板張り （１４．６．２～３）

種類	製法	材種	表面処理	施工箇所	厚（mm）	その他
・スパンドレル形	・押出し	※アルミ 製	・Ｂ－１種	・		
6	・ロール	・	・Ｂ－２種	・		
・パネル形	※プレス	・	・	・		
	・曲加工	・	・	・		

伸縮継手 ※設けない ・設ける（施工箇所は図示）
7 アルミ 製笠木 （１４．７．２～３） ・図示による ・
8 その他 ・金属サイディング
・窯業系サイディング

左官工事

1 ひび割れ防止 （１５．１．７） ※コンクリート の打継ぎ部、せっこうラスボード 類の継目等、ひび割れのおそれのある箇所には、プラスター塗りの場合は、しゅろ毛、パーム、ガラス繊維状ネット 等を伏せ込み、モルタル塗りの場合は、メタルラス張り 等を行う。

2 モルタル塗りの下地処置等 （１５．２．２） 吸水調整材の製造所 ※監督員の承諾する製造所
防水剤（ 防水モルタル塗りの混入剤）製造所 ※監督員の承諾する製造所

3 床面の仕上がり （１５．３．２） ※床コンクリート 直均し 仕上げの床面の仕上がりの平たんさは、次による。（ 防水下地面の仕上がり 状態も準ずる）
1 壁の端末廻りは、３mにつき３mm以内とする。
2 仕上がり 面でのむらは目視により 支障がない程度とする。
3 平たんさは、３mにつき７mm以下とする。

種類	標準厚さ （mm）	施工箇所
※セメント 系	※１０	・
・せっこう 系	※１０	・

養生 ※セルフレベリング材塗り 後７日以上放置する。ただし、気象条件等により 硬化状態が良好な 場合は、監督職員の承諾を 受けて、期間を 短縮することができる。

5 防火材料 （１５．２．２） 防火材料の指定がある場合は、建築基準法に基づき 指定又は認定を 受けたものとする。
6 ロックウール吹付け （１５．７．１～３） ・ロックウール吹付け（ 乾式工法） ・図示による

7 仕上げ塗材仕上げ （１５．５．２）

種類	呼び名	適称	参考使用メーカー・品番等
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材Ｅ	アクリルリシン	・ｴｽｹｰ化研 ・日本ﾍﾟｲﾝﾄ ・関西ﾍﾟｲﾝﾄ
	・内装薄塗材Ｅ	じゅらく	・
	・可とう 形外装薄塗材Ｅ	弾性リシン	・
	・防水型外装薄塗材Ｅ		・
	・外装薄塗材Ｓ	溶剤リシン	・
	・内装薄塗材Ｗ	繊維壁	・
・厚付け仕上げ塗材	タイル状 ・外装厚塗材Ｃ	セメント スタッコ	・
	・内装厚塗材Ｃ	セメント スタッコ	・
	コ ・外装厚塗材Ｅ	アクリルスタッコ	・
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	ポリマーセメントタイル	・
	・可とう 形複層塗材ＣＥ		・
	・複層塗材Ｓｉ	シリカタイル	・
・・※耐耐候形 耐耐候形 1 2 3 種種	・複層塗材Ｅ	アクリルタイル	・
	・複層塗材ＲＥ	エポキシタイルＲＥ	・
	・複層塗材ＲＳ	エポキシタイル	・
	・防水複層塗材ＣＥ	弾性吹付タイル	・
	・防水複層塗材Ｅ		・
	・防水複層塗材ＲＳ		・
・軽量骨材仕上塗材	・吹付厚塗材Ｅ	パーライト、ひる石	・
	・こて塗厚塗材Ｅ	パーライト、ひる石	・
8 その他			

・建具廻り 充填モルタル詰めの防水剤及び樹脂加工剤は資料を 提出し 承認を 受けること。

建具工事

1 アルミニウム製建具 （１６．１．３） （１６．２．２～４）

※性能等級等	●Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種
耐風圧性	●Ｓ－４（旧等級表示２００）	・Ｓ－５（旧等級表示２４０）	・Ｓ－６（旧等級表示２８０）
気密性	●Ａ－３（旧等級表示８）		・Ａ－４（旧等級表示２）
水密性	●Ｗ－４（旧等級表示３５）	・Ｗ－５	・Ｗ－６（旧等級表示５０）
特定ふさ（mm）	●７０	・１００	・１００
表面処理	・ｱﾙﾏｲﾄ仕上	●電解着色皮膜 ・その他（ｱｸﾘﾙ樹脂焼付け ）	

※塗料系 （ YKK AP 不二ｻｯｼ 三協立山ｱﾙﾐ ）
※鋼ｻｯｼ等防虫網の材質 ・ステンレス製（ＳＵＳ３１６） ※ガラス繊維入り 合成樹脂製品 ・合成樹脂製
・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・Ｔ－１ ・Ｔ－２ ・Ｔ－３ ・Ｔ－４
・断熱ドアセット、断熱サッシの遮熱性の等級 ・Ｈ－１ ・Ｈ－２ ・Ｈ－３ ・Ｈ－４ ・Ｈ－５
・耐風ドアセットの面内変形追従性の等級 ・Ｄ－１ ・Ｄ－２ ・Ｄ－３ ・Ｄ－４
・その他 （ ）

2 鋼製建具 （１６．３．２～４） ※図示による 製作所（ ）
● 鋼製軽量建具 （１６．３．２～５） ※図示による 製作所（ ・文化ｼｬｯﾀｰ ・小松ウォール ・三和ｼｬｯﾀｰ ）
4 ステンレス製建具（１６．５．３～５） ※図示による 製作所（ ）
5 自動ドア開閉装置 （１６．８．３） ※図示による 製作所（ ）
6 木製建具 （１６．６．１～４） ※図示による 製作所（ ）
※建具材の含水率は、Ａ種（１５％以下） ※Ｂ種（ 天然１８％、人工１５％）・Ｃ種（１８％以下）
※ホルムアルデヒド 放散量はＦｃｏとする。
● 建具金物 （１６．７．１～４） ※図示による マスターキー ※制作する ・制作しない
鍵箱 ※設ける ・設けない

● ガラス （１６．１３．２） 品質規格 共通仕様書の規定による材料
※網入り 板ガラス等の小口処理は、ガラス用防錆塗料又は 防錆テープを 用い 切断処置を 行う。

● ガラスとめ材 （１６．１３．２）

建具の種類	材 種	
鋼製・ステンレス製	※ゴーリング材・ガスケット	防火戸のガラスとめ材は、建築基準法に基づく
アルミニウム製	※ゴーリング材	防火性能の認定を 受けた 条件による

※ゴーリング材は特記なき限りシリコーン系とする。

10 重量シャッター （１６．１０．２～５） ※図示による 製作所（ ）
11 軽量シャッター （１６．１１．２～５） ※図示による 製作所（ ）
12 オーバーヘッドドア （１６．１２．５） ※図示による 製作所（ ）
13 障害物感知装置 ※電動式シャッターには原則として、障害物感知装置を 設置する。
14 その他 ・電動ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞｵｰﾌﾟﾝｼｬｯﾀｰ ※図示による 製作所（ ）

カーテンウォール工事

1 カーテンウォール （１７．１．３）（１７．２．２～６）（１７．３．２～６） 設計図書に定める以外の仕様は、監督職員の承認を 受けて、カーテンウォール製作所の仕様とすることができる。

※耐風圧性	・Ｓ－４ ・Ｓ－５ ・Ｓ－６	・気密性	・Ａ－３ ・Ａ－４
耐震性		・耐火性	時間
・層間変位追従性能	・１／２００	・耐温度差性	（℃）
・設計用水平震度	※１．０	・遮音性	・Ｔ－１ ・Ｔ－２
・設計用鉛直震度	※０．５		・Ｔ－３ ・Ｔ－４
・水密性	・Ｗ－４ ・Ｗ－５	・断熱性	（ ㎡・℃／kcal）

その他の性能 図示による
種 類 ・メタルカーテンウォール
金属材料の種類（ 見掛かり 部分の仕上げ）
・アルミニウム製（ ・Ｂ－１種 ・ ）
・鋼製（ ）
・ステンレス製（ ）
・ＰＣカーテンウォール
2 その他 ・

塗装工事

1 防火材料 （１８．１．３） 屋内の壁及び天井の塗装仕上げは建築基準法に基づき指定又は認定を 受けたものとする。
● 素地ごしらえ （１８．２．２～７） 素地ごしらえ工程の種別
・木部 ・不透明塗料塗り（ ※Ａ種 ・Ｂ種）
・透明塗料塗り （ ・Ａ種 ※Ｂ種）
・鉄面 ・上塗材が下記のいずれかの場合 （ ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種）
2液系ポリウレタンエナメル（２-ＵＥ）、アクリルシリコン樹脂エナメル（２-ＡＥＦ）、常温乾燥型フッ素樹脂エナメル（２-ＵＥＦ）
・その他 （ ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種）
● 亜鉛めっき面 ・上塗材が下記のいずれかの場合 （ ※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種）
2液系ポリウレタンエナメル（２-ＵＥ）、アクリルシリコン樹脂エナメル（２-ＡＥＦ）、常温乾燥型フッ素樹脂エナメル（２-ＵＥＦ）
・上塗材が多彩模様塗料（ＥＰ－ＭＬ）の場合 （ ・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種）
● その他 ・鋼製建具面 （※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種）
・鋼製建具面以外 （ ・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種）
● コンクリート ・ＡＬＣパネル及び押出成形セメント 板面
● 上塗材が下記のいずれかの場合 （※Ａ種 ・Ｂ種）
2液系ポリウレタンエナメル（２-ＵＥ）、アクリルシリコン樹脂エナメル（２-ＡＥＦ）、常温乾燥型フッ素樹脂エナメル（２-ＵＥＦ）
・その他 （ ・Ａ種 ※Ｂ種）
・モルタル、プラスター面 （ ・Ａ種 ※Ｂ種）
● せっこうボード 及びその他ボード 面 ・継目処理工法面 （※Ａ種 ・Ｂ種）
・その他 （ ・Ａ種 ※Ｂ種）

● 塗装種別と 略号

日本建築学会ＪＡＳＳ１８にて示す 略号	塗装種別	適用下地 木質系	モルタル・ボード 金属系	日本建築学会ＪＡＳＳ１８にて示す 略号	塗装種別	適用下地 木質系	モルタル・ボード 金属系
ＯＰ	油性調合ペイント	○	○	２－ＵＥ	２液形ポリウレタンエナメル		○
ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント	○	○	２－ＵＥ	常温乾燥形フッ 素樹脂エナメル		○ ○
ＣＬ	クリヤーラッカ	○		ＥＰ－Ｇ	つや有合成樹脂エマルションペイント		○
ＦＥ	フタル酸樹脂エナメル	○		ＥＰ－Ｔ	合成樹脂エマルション模様塗料		○
ＶＥ	塩化ビニル樹脂エナメル		○ ○	ＥＰ－Ｍ	多彩模様塗料	○	○ ○
ＡＥ	アクリル樹脂エナメル		○ ○	ＥＰ	合成樹脂エマルションペイント	○	○
ＵＣ	ウレタンワニス	○		ＯＳ	油性ステイン	○	
―	マスチック塗料		○ ○	２－ＡＥ	アクリルシリコン樹脂エナメル		○ ○

● ＳＯＰの塗料の種類 （１８．２．４） 屋外、屋内共 ※１ 種 ・２種
塗装業者 ※日本塗装工業会の会員を 原則とする ・監督員の承諾する塗装業者
その他 ・

内装工事

1 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り （１９．２．２～３） 品質規格 共通仕様書の規定による材料

種類	記号	厚さ（mm）	参考メーカー 品番等
・ビニル床シート（ 発泡層無）	NC	・２．０	・
・	・	・	・
・	―	・	・
・	・	・３．０	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・特殊機能床材（ ）			
・			
・（ ）		・	
・			

・ビニル幅木の高さ（ mm） ・６０ ・７５ ・１００ ・３３０（ガード 巾木）

2 合成樹脂塗り床 （１９．４．３）

種別	仕上げの種類	参考メーカー 品番等
・弾性ウレタン塗り 床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し 仕上げ	・ｱｲﾘﾑ 耐熱ﾋﾞｭｰﾙ Ｍ３ 同等以上
・エポキシ樹脂塗り 床材	・凹凸模様 風ぐし仕上げ ・厚塗風 風ぐし仕上げ	・
	・樹脂モルタル仕上げ ・防滑仕上げ	・
・	・	・

● せっこうボード 、その他ボード 及び合板張り （１９．７．２） ※天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく 防火材料の指定又は認定を 受けたものとする。
※ホルムアルデヒド 放散量はＦｃｏとする。

4 フローリング張り （１９．２．１～６）

種別	工法	参考メーカー 品番等
単層 ・フローリングボード	・釘止め工法 ・接着工法	・
フロー ・フローリングブロック	・モルタル埋込工法	
リング ・モザイクパーケット	・釘止め工法 ・接着工法	・
・複合フローリング	・釘止め工法 ・接着工法	・ﾃｰﾁｰﾝ笠原ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ プライ 12mm かば 単板2mmｶﾞｰﾄﾞ
・複合フローリング（ ）	・釘止め工法 ・接着工法	・ﾃｰﾁｰﾝ笠原ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 12mm かば 単板2mmｶﾞｰﾄﾞ

5 壁紙張り （１９．８．２） 建築基準法に基づく 防火材料の指定又は認定を 受けたものとする。

壁紙の種類	品質	壁紙の種類	防火性能級別	品質
・無機質壁紙	※1 級 ・ 級	・繊維壁紙	※1 級 ・ 級	AAクラス
・ビニル壁紙	※1 級 ・ 級	AAクラス	・	※1 級 ・ 級

6 畳敷き （１９．６．２）

種別	・Ａ種（ 和ﾏｯﾄ 畳床高級品）	・Ｂ種（ 和ﾏｯﾄ 畳床一般品）	●Ｃ種（ ポリスチレン畳床）	・Ｄ種（ 建材畳床）

7 カーペット 敷き （１９．３．３～４） 消防法に定める防炎性能を 有するものとし、認定表示のあるものとする。

材料	参考メーカー 品番等	材料	参考メーカー 品番等
・織じゅうたん		・タイルカーペット	
・タフテッドカーペット		・	

8 断熱材打込み工法 （１９．９．２） 9 断熱材現場発泡工法 （１９．９．３）

断熱材の種類 ※特定フロンを使用しないもの	施工場所	厚さ	その他
・押出法ポリスチレン	※２種ｂ ・一般部	※２５ ・	
	フォーム保温板 ※３種ｂ（ 皮付） ・土間床部分スラブ下面	※２５ ・	
・吹付硬質ウレタンフォーム断熱材（ 現場発泡断熱材）	※断熱材非開口部分 ・	※１５	※躯体3 級

10 その他 ・屋根直下天井にグラスウール24Ｋ厚100敷込み
・軒式二重床 製造所・参考商品名 （ フクビ EP-30（断熱材裏貼））

ユニット及びその他工事

1 トイレブース
2 階段手すり
3 ブラインド ●図示による 製作所（ 文化ｼｬｯﾀｰ 小松ｳｫｰﾙ 三和ｼｬｯﾀｰ ﾌｧﾝ ）
・図示による（特記なき事項は建築工事標準詳細図7-12、7-13による）

形式	・横型ブラインド
スラットの材種	・アルミスラット ※クロススラット
スラットの幅（mm）	※２５ ・７５以上 ※１００

参考製造所 ﾀｶﾗﾄﾘﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ

4 点検口 ・図示による ・天井 ※アルミニウム製 ※４５０×４５０ ・６００×６００
・床 ※ステンレス製 ・４５０×４５０ ※６００×６００
5 カーテン ※消防法に定める 防炎製品とする。（認定表示マーク付）

施工箇所	きれ地の品質等（製造所）	ひだの種類	開閉形式 片引	開閉装置 引分	電動	ひも手引
・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・

ひだの種類 ①プレーンひだ ②片ひだ ③箱ひだ ④２つひだ ⑤３つひだ ⑥ギャザーひだ
カーテンレールの材種、形状 ※アルミ合金押出し成型材（アルマイト）角形
6 視覚障害者用誘導床材 ・図示による ・注意喚起鋲 300角（ﾀｲﾌﾟ）点状突起樹脂充填ﾀｲﾌﾟ JM-13同等以上）
・誘導ﾏｰｶｰ 300角（ﾀｲﾌﾟ）線状突起樹脂充填ﾀｲﾌﾟ JM-33同等以上）
7 消火器 ・図示による
8
9
10

排水工事

1 排水管 （２１．２．１） ●図示による ●硬質塩化ビニル管（●ＶＰ ・ＶＵ ） ※設備工事とする
2 埋関しに用いる材料 （２１．２．３） ※樹脂 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ※設備工事とする
※設備工事とする
6 グレーチング ●図示による
4 鋳鉄製マンホールふた ・図示による ※設備工事とする
5 その他 ・

舗装工事

1 路床の盛土材料 （２２．２．３） 種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種
2 試験 （２２．２．５） 路床の支持力比試験 ・行う ※行わない 路床締固め度試験 ・行う ※行わない
3 アスファルト 舗装 （２２．４．１） ・図示による
4 コンクリート 舗装 （２２．５．１） ・図示による
5 ブロック系舗装 （２２．８．１） ・図示による
6 区画線 （２２．１１．１） ※3 種1 号、色（ 白色）、塗布厚さ（ １．０mm）
※再生材料の使用を 可とする。（ ※クラッシャラン）
7 その他 ・図示による

植栽工事

1 植栽地の不確認 （２３．１．３） 土壌の酸度及び塩分量の試験 ・行う ※行わない
2 植栽基盤の整備 （２３．２．２） 樹木 ・行う（ ※Ａ種・Ｃ種・Ｄ種） ※行わない 芝 ※行う（ ※Ｂ種・Ｃ種・Ｄ種）・行わない
3 植込み用土 （２３．２．３） ※現場発生の良質土 ・客土
4 新植樹木の根部養 新植樹木の根部養は引渡の日から１年とする
5 その他 ・

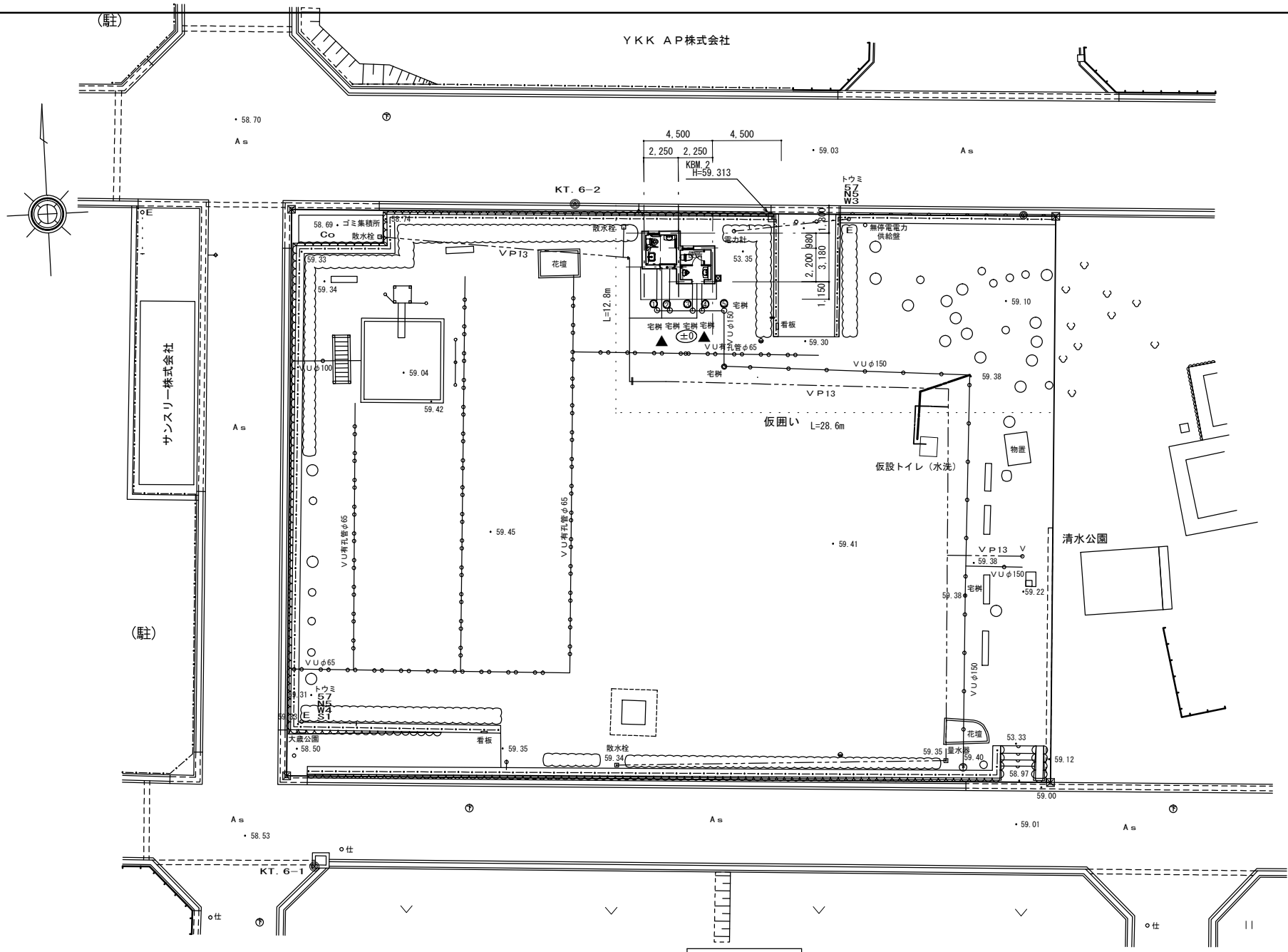
株式会社 バンス 加西本店
1級建築士登録 第243480号 半澤 協

CHECKED BY | REVIEWED BY | DRAWN BY

SCALE NO SCALE
DATE 平成 年 月 日

CONSTRUCTION NAME 平成25年度 社会資本整備総合交付金事業 まち交・社市街地地区 公園トイレ改築工事
PLAN NAME 特記仕様書（２）

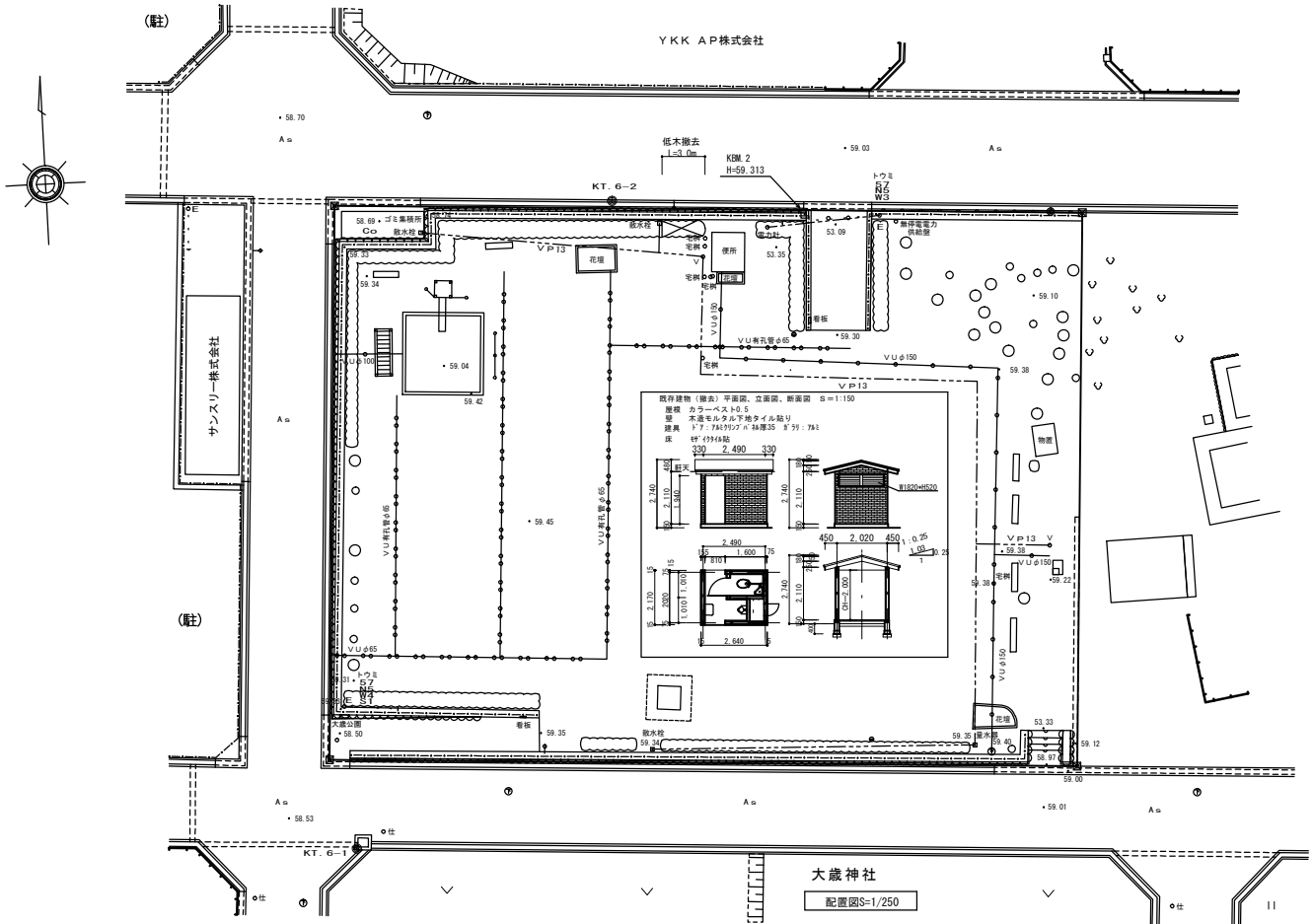
No. A-02



註１　※印寸法は監督員と協議の上、最終決定とすること。

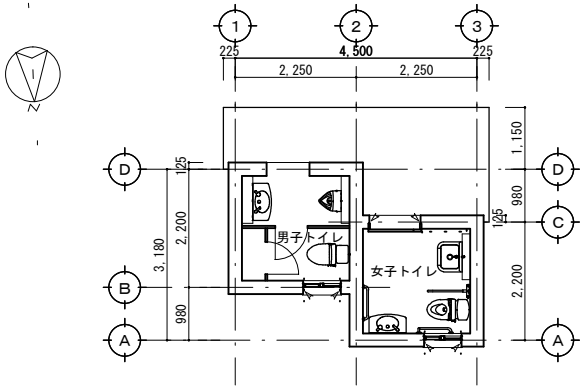
註２　(数字)は現況レベルを示す。(数字)は計画レベルを示す。(0)−(0)とする。

株式会社　バンス　加西本店 1級建築士登録　第243480号　半澤　協		CHECKED BY	DESIGNED BY	DRAWN BY	SCALE S=1/250 DATE 平成　年　月　日	CONSTRUCTION NAME 平成25年度社会資本整備総合交付金事業（まち交） 社市街地地区公園トイレ改築工事 PLAN NAME 配置図・付近見取図・敷地求積図	No. A-03

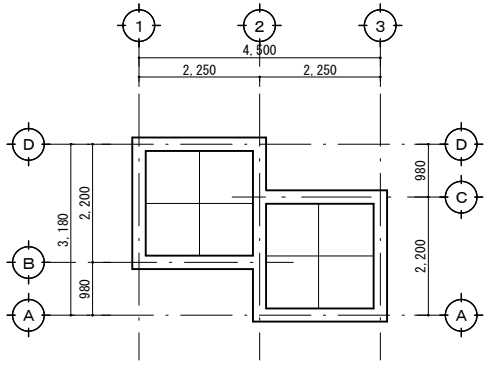


株式会社　バンス　加西本店 1級建築士登録　第243480号　半澤　協		DRAWN BY / CHECKED BY / ISSUE BY	SCALE S-1/150　S-1/250 DATE 平成　年　月　日	CONSTRUCTION NAME 平成25年度社会資本整備総合交付金事業（まち交） 社市街地地区公園トイレ改築工事 PLAN NAME 現況撤去図	No. A-04

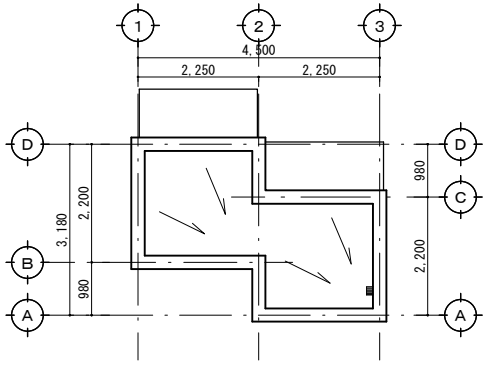
LBP740



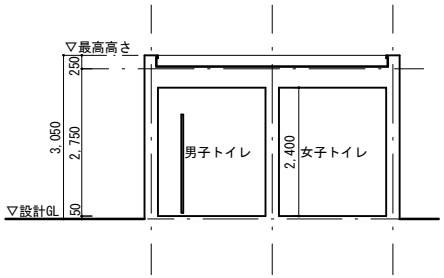
平面図 -S=1/100



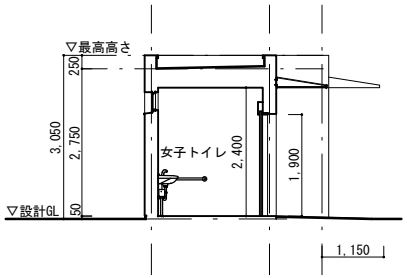
天井伏図- S=1/100



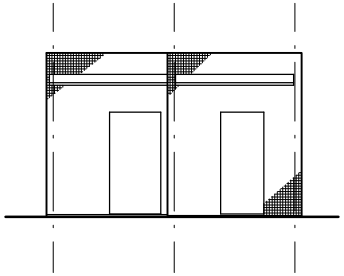
屋根伏図- S=1/100



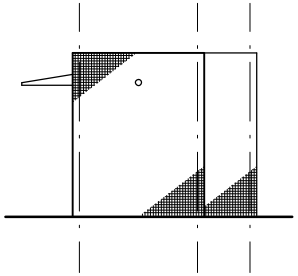
断面図 -S=1/100



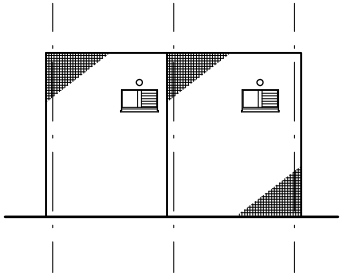
断面図 -S=1/100



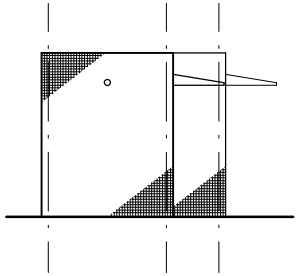
南立面図- S=1/100



東立面図- S=1/100



北立面図- S=1/100



西立面図- S=1/100

株式会社 バンス 加西本店
1級建築士登録 第243480号 半澤 協

CHECKED BY
DESIGNED BY
DRAWN BY

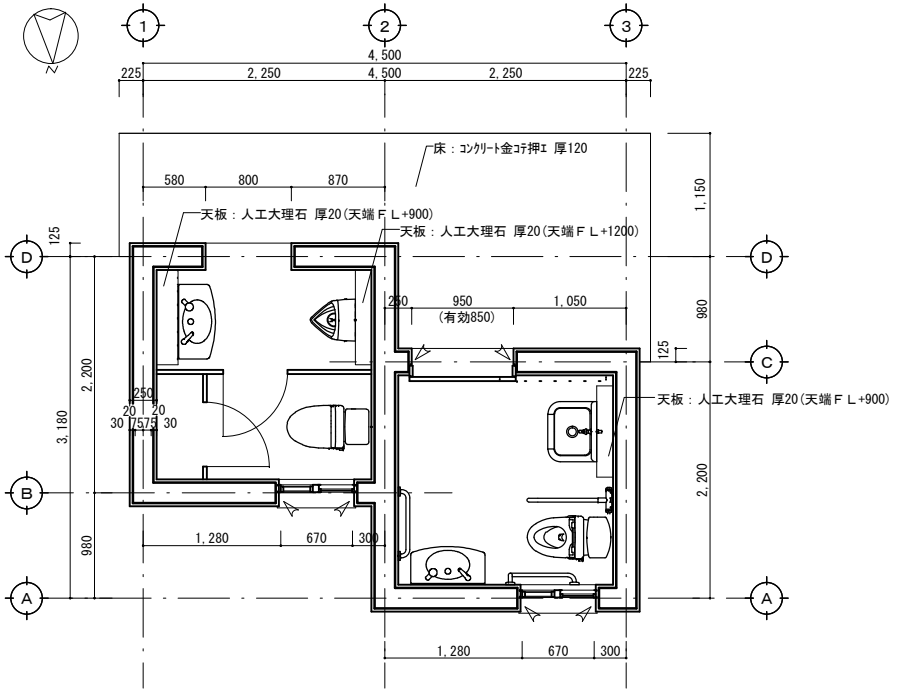
SCALE S=1/100

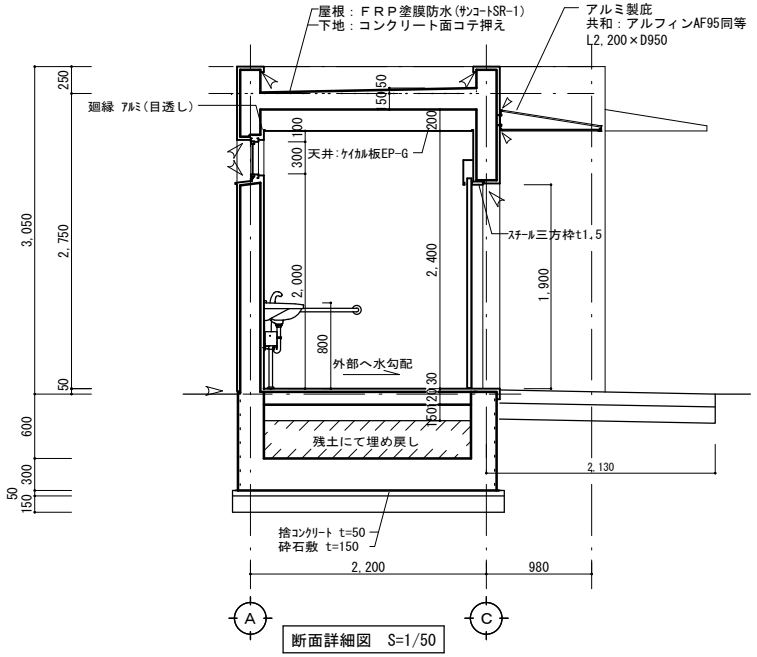
DATE 平成 年 月 日

CONSTRUCTION NAME 平成25年度社会資本整備総合交付金事業（まち交）
社市街地地区公園トイレ改築工事

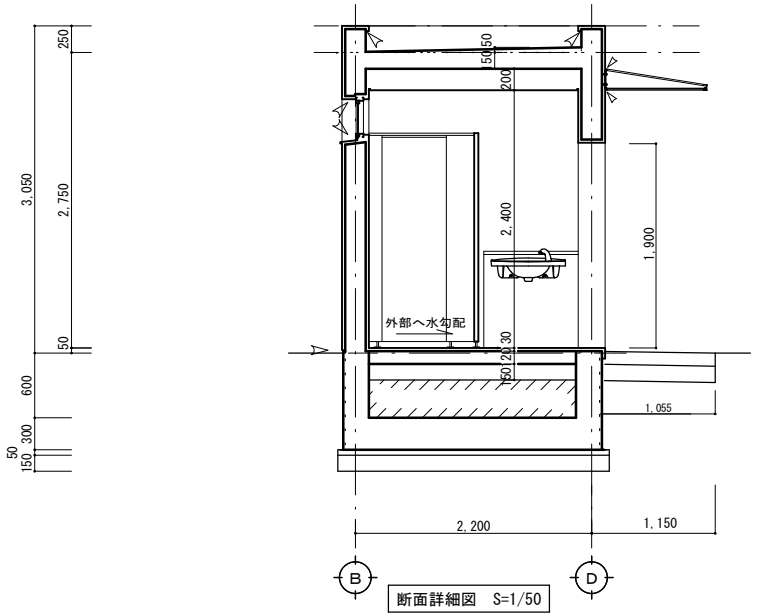
PLAN NAME 平面図・立面図・断面図

No. A-05





断面詳細図　S=1/50



断面詳細図　S=1/50

仕上表

	仕　上	下　地
床	100角磁器質タイル	モルタル塗り 木こて押え（タイル下地 t25）
内壁	50角ラスタータイル（２色張り分け）	モルタル塗り 木こて押え（タイル下地 t25）
天井	ケイ酸カルシウム板t6 目透かし張り　ＥＰ－Ｇ塗	LGS下地　19型 @225 下地張り無し
廻縁	アルミ見切縁 目透かしタイプ	
外壁	50角ラスタータイル（２色張り分け）	モルタル塗り 木こて押え（タイル下地 t25）
屋根	弾性ＦＲＰ塗膜防水<2.2>カラー仕上げ　双和化学ポリルーフＰＳ－１Ｄ工法同等品	コンクリート金コテ押え（防水下地）
笠木	50角ラスタータイル巻き込み	

凡例

▷　変性シリコン系シーリング

株式会社　バンス　加西本店
1級建築士登録　第243480号　半澤　協

CHECKED BY | DESIGNED BY | DRAWN BY

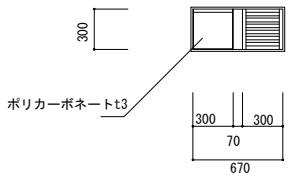
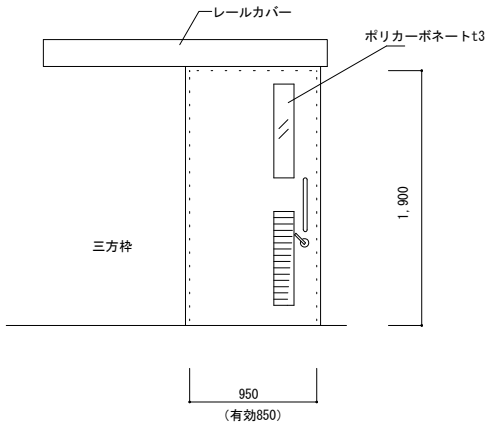
SCALE S=1/50

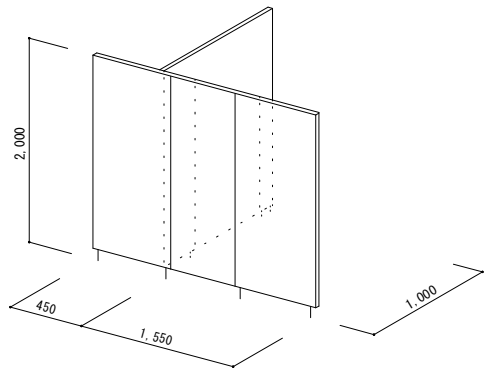
DATE 平成　年　月　日

CONSTRUCTION NAME 平成25年度社会資本整備総合交付金事業（まち交）
社市街地地区公園トイレ改築工事

PLAN NAME 断面詳細図・平面詳細図

No. A-06

符号・名称	AW 1 ガラリ付きＦＩＸ窓	LSD 1 片引きハンガー戸
形状・寸法		
材質・仕上・塗装	アルミシルバー	化粧鋼板 t0.8　焼付塗装（三方枠共）　戸袋無し
付属金物	水切、額縁	大型把手　ＳＵＳ製ＨＬ 、表示錠（非常開放装置付）、シリンダー本締錠 指詰防止ゴム、アルミガラリ、ガラリ部ＳＵＳ製防虫網 レールカバーSUS304 t0.8、三方枠、ハンガーレール、ガイドローラー他付属金物一式
ガラス	ポリカーボネートt3 乳白色	ポリカーボネートt3 乳白色
位置 / 数量	男子トイレ､女子トイレ / 2	女子トイレ / 1
備考 / 建具見込 / 枠見込	/ ７０ /	スチール製三方枠　見込み１００ / ４０ /

符号・名称	TB 1 トイレブース
形状・寸法	
材質・仕上・塗装	両面メラミン化粧合板貼（芯材MDF）
付属金物	ﾗﾊﾞﾄﾘﾋﾝｼﾞ、ﾗﾊﾞﾄﾘｽﾄﾗｲｸ、戸当帽子掛け、付属金物一式 ｽﾗｲﾄﾞﾗｯﾁ(表示・非常解錠装置付) 笠木･ドアエッジ：アルミ　ＳＵＳ支持脚
ガラス	
位置 / 数量	男子トイレ / 1
備考 / 建具見込 / 枠見込	/ ３０ /

共通事項

形式・材質

ＳＳＤ	ステンレス製扉
ＳＤ	スチール製扉
ＡＤ	アルミ製扉
ＬＳＤ	軽量スチール製扉
ＷＤ	木製扉（木枠）
ＳＷＤ	木製扉（スチール枠）
ＳＳＷ	ステンレス製窓
ＡＷ	アルミ製窓
ＷＷ	木製窓
ＳＴＳ	ｽﾃﾝﾚｽ製シャッター
ＳＳ	スチール製シャッター
ＡＳ	アルミ製シャッター
ＯＳＤ	ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ
ＳＰ	ｽﾁｰﾙ製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
ＡＰ	ｱﾙﾐ製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ
ＴＢ	トイレブース
ＡＣＷ	ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ
ＫＳ	換気扇枠
ＳＷ	可動間仕切り
Ｃ	カーテン
Ｂ	ブラインド

ステンレス仕上げ

ＨＬ	ヘアーライン
ＭＬ	鏡面

金物

ＣＬ	シリンダー本締錠
ＤＣ	ドアチェック
ＦＨ	フロアヒンジ
ＡＨ	オートピボットヒンジ
ＡＰ	アングルピース

ガラス

ＦＬ	フロートガラス
ＳＧ	スリガラス
Ｆ	型板ガラス
ＦＷ	網入り型板ガラス
ＰＷ	網入り磨き板ガラス
ＧＰＷ	熱線吸収
ＢＰＷ	網入り磨き板ガラス
	Ｇ：グレー
	Ｂ：ブロンズ
ＨＦＬ	熱線吸収
ＧＦＬ	網入り磨き板ガラス
ＢＦＬ	Ｈ：ブルー Ｇ：グレー
	Ｂ：ブロンズ
ＳＴＰ	学校用強化ガラス

株式会社　バンス　加西本店
1級建築士登録　第243480号　半澤　協

CHECKED BY / DESIGNED BY / DRAWN BY

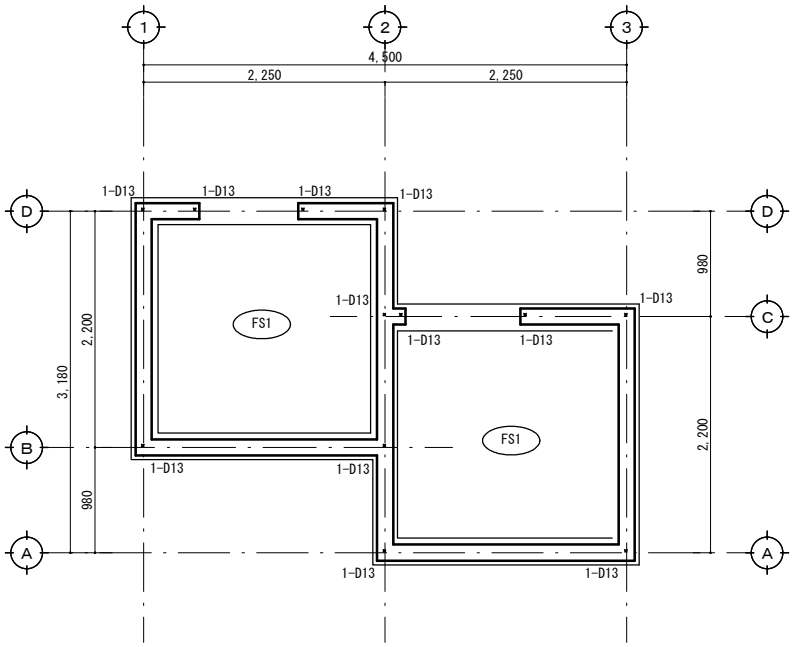
SCALE S=1/40

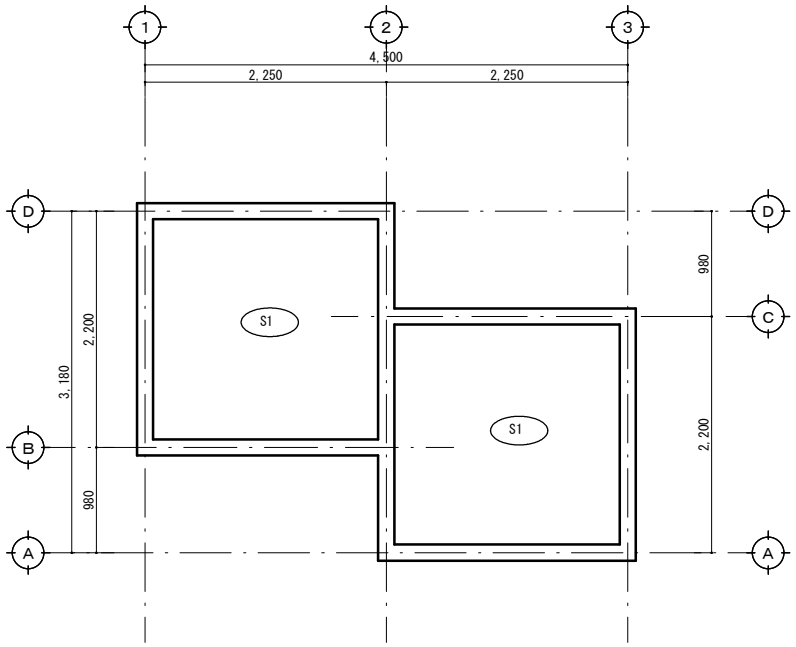
DATE 平成　年　月　日

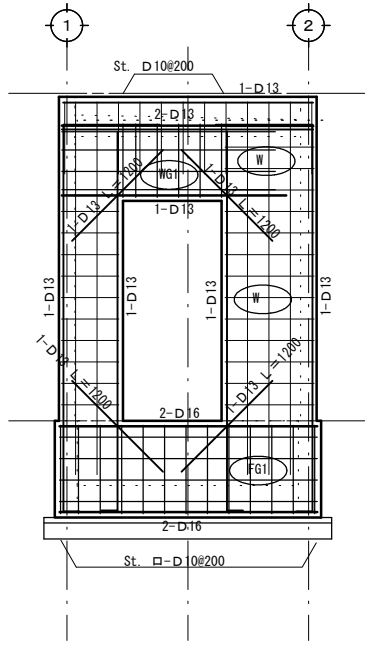
CONSTRUCTION NAME 平成25年度社会資本整備総合交付金事業（まち交）
社市街地地区公園トイレ改築工事

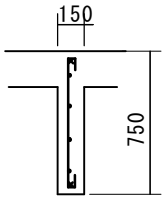
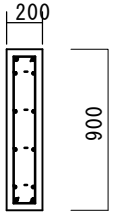
PLAN NAME 建具表

No. A-07



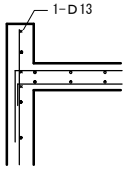




	WG1(出入り口上部)	FG1
	全 断 面	全 断 面
		
断 面	150 x 750	200 x 900
上端筋	1 - D 13	2 - D 16
下端筋	1 - D 13	2 - D 16
腹 筋	4 - D 10	8 - D 10
ｽﾀﾗｯﾌﾟ	D10@200両端180° ﾌｯｸ	ロ - D 10 @ 200

幅止め D10@1000

パラペット



※ 壁構造配筋指針に基づき配筋する事
※ 小開口周囲には補強筋1-D13ﾀﾃ･ﾖｺ･ﾅﾅﾒを配筋する事
ｺﾝｸﾘｰﾄ Ｆｃ21-18-20
鉄筋 ＳＤ295Ａ

部材リスト			備 考
FS1	t =300	D13@200 ﾀﾞﾌﾞﾙ	
S1	t =150	D10@200 ﾀﾞﾌﾞﾙ	
W	t =150	D10@200 ｼﾝｸﾞﾙ	
土間	t =120	D10@200 ｼﾝｸﾞﾙ	

株式会社 バンス 加西本店
1級建築士登録 第243480号 半澤 協

CHECKED BY | DESIGNED BY | DRAWN BY | SCALE S-1/20 | DATE 平成 年 月 日

CONSTRUCTION NAME 平成25年度社会資本整備総合交付金事業（まち交）社市街地地区公園トイレ改築工事

PLAN NAME 構造図

No. A-08

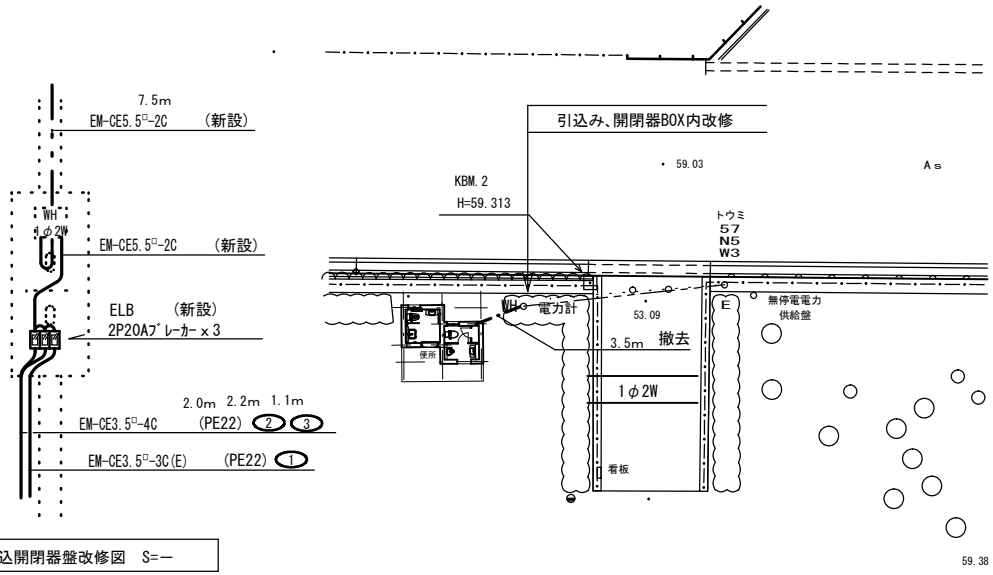
電気設備特記仕様書											工事名称	平成25年度社会資本整備総合交付金事業(まち交) 社市街地地区公園トイレ実施設計業務委託
工事場所	主体工事による										工事期間	主体工事による
一般事項	下記事項は、●印を本工事に適用する。ただし●印の無い場合は※印を適用する。											
共通事項	1.	※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）										
		（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）」										
		※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「電気設備改修工事共通仕様書」（最新版）（以下、「標準図」という。）による。										
申請及び手続き	2.	本工事に必要なる電力会社、官公庁への手続き申請の一切を代行し										
		遅滞する事なく行い、試運転・試験調整を含めその費用は全て請負者の負担とする。										
工事補償	3.	竣工引渡後・かしの担保期間内に工事不良又は、これに準ずる理由により生じたと認められる損傷、										
		不都合は請負者の負担により速やかに修理・復旧する事。										
ｸﾞﾘｰﾝ購入法	4.	※ 適合品の使用			省エネ法	5.	※ 適合品の使用					
優先順位	6.	1	質疑回答書	2	現場説明・指示書	3	本特記仕様書	4	図面	5	標準仕様書	

工事種目・範囲

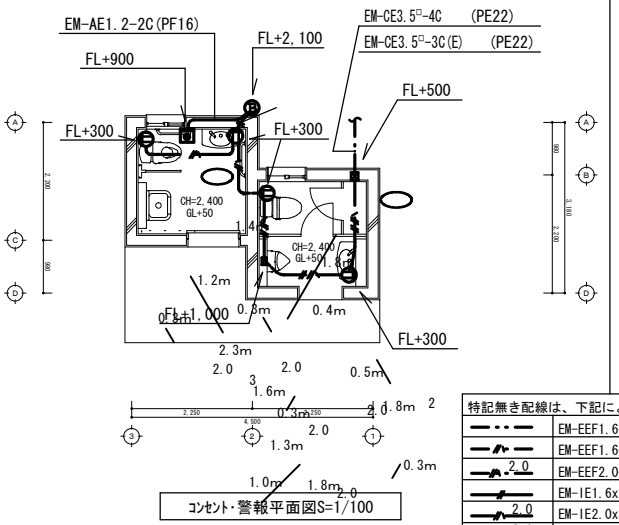
○	引込・幹線設備工事	● 低圧 ● 配管 ● 配線 ● 機器取付及び調整
○	電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備工事	● 配管 ● 配線 ● 機器取付及び調整

特記事項

	1	本工事使用機器、主要材料は全てＪＩＳ表示 ＪＣＳ・ＪＥＭ・ＪＥＣ規格合格品
		尚、本工事に使用する配線・ケーブルは全てエコ電線とする。
	2	特記なき2重天井内は、ｹｰﾌﾞﾙｺﾛｶﾞｼ配線とする。

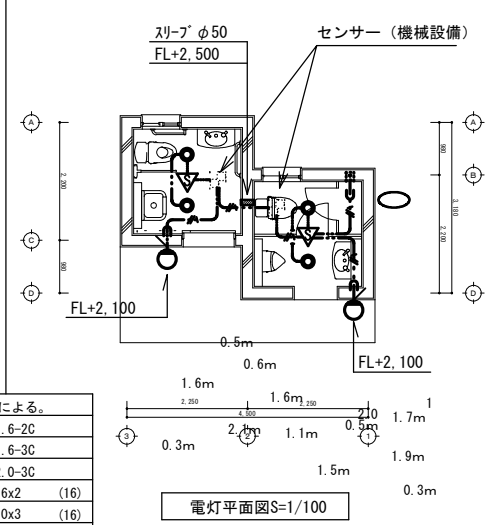


引込開閉器盤改修図 S=ー



コンセント・警報平面図S=1/100

特記無き配線は、下記による。		
	EM-EEF1.6-2C	
	EM-EEF1.6-3C	
2.0	EM-EEF2.0-3C	
	EM-IE1.6x2	(16)
2.0	EM-IE2.0x3	(16)
2.0	EM-IE2.0x5	(22)

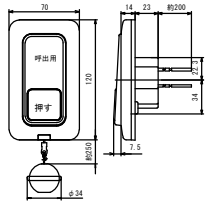


電灯平面図S=1/100

大歳公園 配置図S=1/200

WP 埋込プルスイッチ付押釦スイッチ

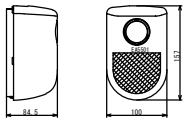
（ａ接点・微少電流対応形）（防沫形プレート・リード線付）



定格	３０Ｖ ０．１Ａ
結線方法	リード線式
備考	ＪＩＳ防沫型

（参考）松下電工 WS65771

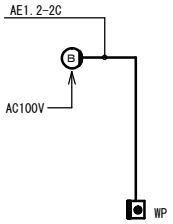
Ⓑ 警報ランプ付ブザー（屋外用）（ＡＣ１００Ｖ）



定格	電圧 ＡＣ１００Ｖ ５０／６０Ｈｚ
消費電力	動作時：５Ｗ 待機時：１Ｗ
操作電圧	DC5V
使用周囲温度	－１０℃～＋５０℃
質量	約５３０ｇ

（参考）松下電工 EA5501

警報ランプ付ブザー設備系統図



ダウンライト ＬＥＤ電球９．０Ｗ×１ ダウンライト

パネル：アクリル(乳白色)
枠：ステンレス(クールホワイト)
埋込穴φ１５０、埋込高１４８

A	パナソニック ＮＮＮ６１０１ＫＫ
	（防湿・防雨型）

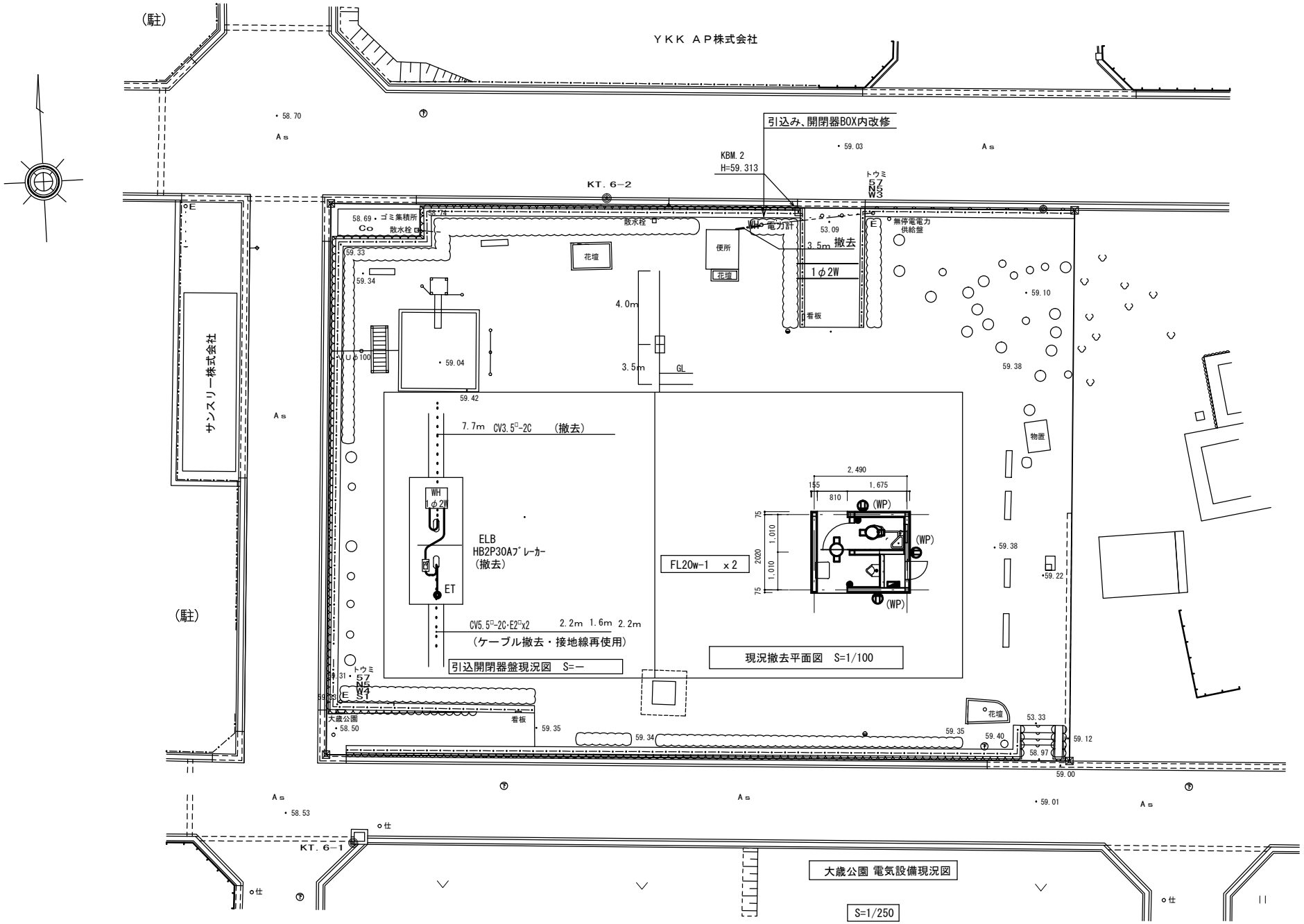
ブラケット ＬＥＤ５．２Ｗ エクステリアライト

本体：アルミダイカスト（ダークブラウンメタリック）
カバー：ガラス（乳白つや消し）
明るさセンサ付、センサ可動範囲（全方向２０度）
点灯照度調整機能付

B	パナソニック ＬＧＷＣ８５０４０Ａ
	（防雨型）

株式会社 バンス 加西本店
1級建築士登録 第243480号 半澤 協

CHECKED BY	DESIGNED BY	DRAWN BY	SCALE	CONSTRUCTION NAME	No.
			S=1/100 S=1/200	平成25年度社会資本整備総合交付金事業（まち交） 社市街地地区公園トイレ改築工事	E-01
			DATE 平成 年 月 日	PLAN NAME 電気設備改修図	



株式会社 バンス 加西本店 1級建築士登録 第243480号 半澤 協		CHECKED BY	DESIGNED BY	DRAWN BY	SCALE S-1/100 S-1/250 DATE 平成 年 月 日	CONSTRUCTION NAME 平成25年度社会資本整備総合交付金事業 まち交・社市街地地区公園トイレ改築工事 PLAN NAME 電気設備現況図	No. E-02

機械設備工事特記仕様書

工事名称　平成25年度社会資本整備総合交付金事業まち交・社市街地地区公園トイレ改築工事　（大歳公園）

工事場所　建築図による。

一般事項
1．本工事は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修（公共建築工事標準仕様書　機械設備工事編）及び（標準図）最新版　に基づき完全に施工のこと。
2．本工事に関係ある法令・条例・規則等は、よくこれを尊守し、必要な手続き・届出・申請は、請負業者がこれを代行し、遅滞なく行うこと。又これに要する費用一切は、請負業者の負担とする。
3．本工事施工上・製作上不審な点、或いは設計図書に明記なき場合、その他疑義を生じた場合は係員と協議の上その指示に従うこと。
4．本工事は、本仕様書・設計図書に示された機能を充分に発揮させる様に施工し、本仕様書・設計図に明記なき場合でも技術上施工上当然必要と思われる事項は、係員と協議の上施工のこと、この場合請負金額の増減はしない。
5．施工に先立ち、他工事との打ち合わせを充分行い、行程表・施工図・製作図・使用材料のメーカーリスト等を作成提出し、係員の承認を受けること。
6．工事中、適当な時期に、機器性能・水圧・通水・機密・漏洩等のテストを行い、係員の承認を受けること。
7．工事の竣工は、関係官庁への届出書類の副本・竣工図・各機器取扱い説明書・保証書・その他係員の指示するものを提出し竣工とする。

工事種目　1．給水衛生設備工事　　2．換気設備工事

工事範囲
1．給水衛生設備工事
既設給水管より、分岐延長の上、各給水栓に給水する為の、保温・被覆工事を含む材工一切の工事。
機器表に記載する器具を設計図の位置に、使用勝手を充分考慮の上、体裁よく堅固に取り付け、
水量調整に至るまでの材工一切の工事。

2．換気設備工事
機器表に記載する各機器を設計図にて指示する位置に、防振・防音等を充分考慮の上に据付、
試運転、風量調整に至るまでの材工一切の工事。

特記事項
1．工事中、各配管の分岐、切断等を行った場合、接続の水漏れがないよう充分注意すること。
2．今回の工事で不要となる配管及び、機器・器具は撤去すること。
3．屋外露出金物、便所ピット内指示金物は、すべてSUS製とする。
4．屋外露出部分は、指定色塗装仕上げとする。
5．工事中には公園利用者仮設トイレを設置し（建設工事）給水、排水管を接続すること。

凡例

記号	名称	材料名称（既設）	材料名称（新設）	備考
——・——	給水管	ビニールライニング鋼管	耐衝撃性塩化ビニール管	
————	汚水管	硬質塩化ビニール管	硬質塩化ビニール管	
————	雑排水管	硬質塩化ビニール管	硬質塩化ビニール管	
—— X ——	消火管	配管用炭素鋼管	配管用炭素鋼管	
—— ——	通気管	硬質塩化ビニール管	硬質塩化ビニール管	
- - - - - -	既設配管			
//////////	既設撤去配管			
—×—×—×—	既設放置配管			

使用材料

給水管	地中埋設	耐衝撃性塩化ビニール管	JWWA-K118(HIVP)
給水管	全般	耐衝撃性塩化ビニール管	JWWA-K118(HIVP)
排水管・ドレン管	全般	硬質塩化ビニール管	JIS K 6741
消火管	全般	配管用炭素鋼管	JIS G 3452
冷媒管	全般	保温付き冷媒用被覆銅管	

保温・防露工事

給水管・消火管	
屋外露出部	ポリスチレンフォーム保温筒＋粘着テープ＋ポリエチレンフィルム＋ステンレス鋼板
屋内露出	ポリスチレンフォーム保温筒＋粘着テープ＋ポリエチレンフィルム＋カラー亜鉛鉄板
天井内・ＰＳ内・及び空隙壁中	ポリスチレンフォーム保温筒＋アルミガラスクロス
空調配管	
屋内露出部	ステンレス保温
屋外露出部	ステンレス保温

衛生機器表　1

器具名	品番	付属品	便所
車いす対応便器	ＣＳ２０ＡＢ	ＳＨ３０ＢＡ、ＴＣ３０１Ｖ６Ｗ、ＹＨ１２１Ｍ	1
腰掛便器	ＣＳ７０Ｂ	ＳＨ６０ＢＡ、ＴＣ３０１、ＹＨ１２１Ｍ	1
自動洗浄小便器	ＵＦＳ８００Ｃ		1
掃除用流し	ＳＫ２２Ａ	ＴＫ２２、Ｔ３７ＳＥＰ１、Ｔ２３ＡＥ２０Ｃ、ＴＮ１１４Ｘ、Ｔ９Ｒ	1
洗面器	Ｌ２７０Ｄ	ＴＥＮ４０ＡＢＸ、Ｔ６ＢＭＰ、ＴＬ２２０Ｄ	2
盗難防止形化粧鏡	ＹＭ４５６０ＡＥ	４５５×６０８	2
小物収納パネル	ＵＴＲ４２１Ｓ		1

機器表

記号	品番	名称	機器性能	電源 消費電力	電源 電圧	台数	取付位置	備考
ＦＥ	1	天井扇	サニタリー用　低騒音・人感センサータイプ	２０ｗ	１００Ｖ	2	便所	三菱：VD-13ZAC9相当品
			風量　１３０m3／ｈ　騒音　３３．５ｄＢ					

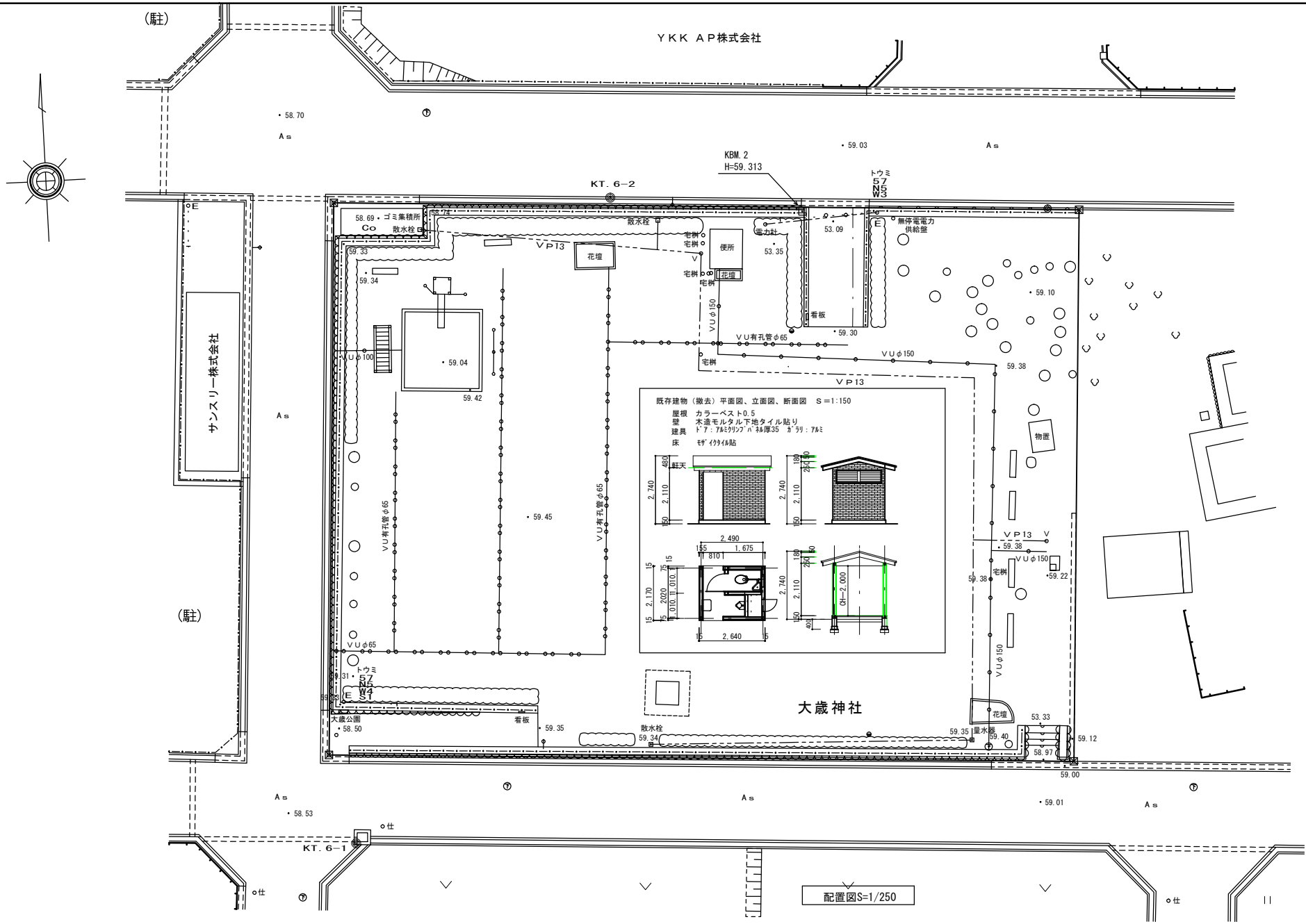
株式会社　バンス　加西本店
1級建築士登録　第243480号　半澤　協

CHECKED BY / DESIGNED BY / DRAWN BY / SCALE / DATE 平成　年　月　日

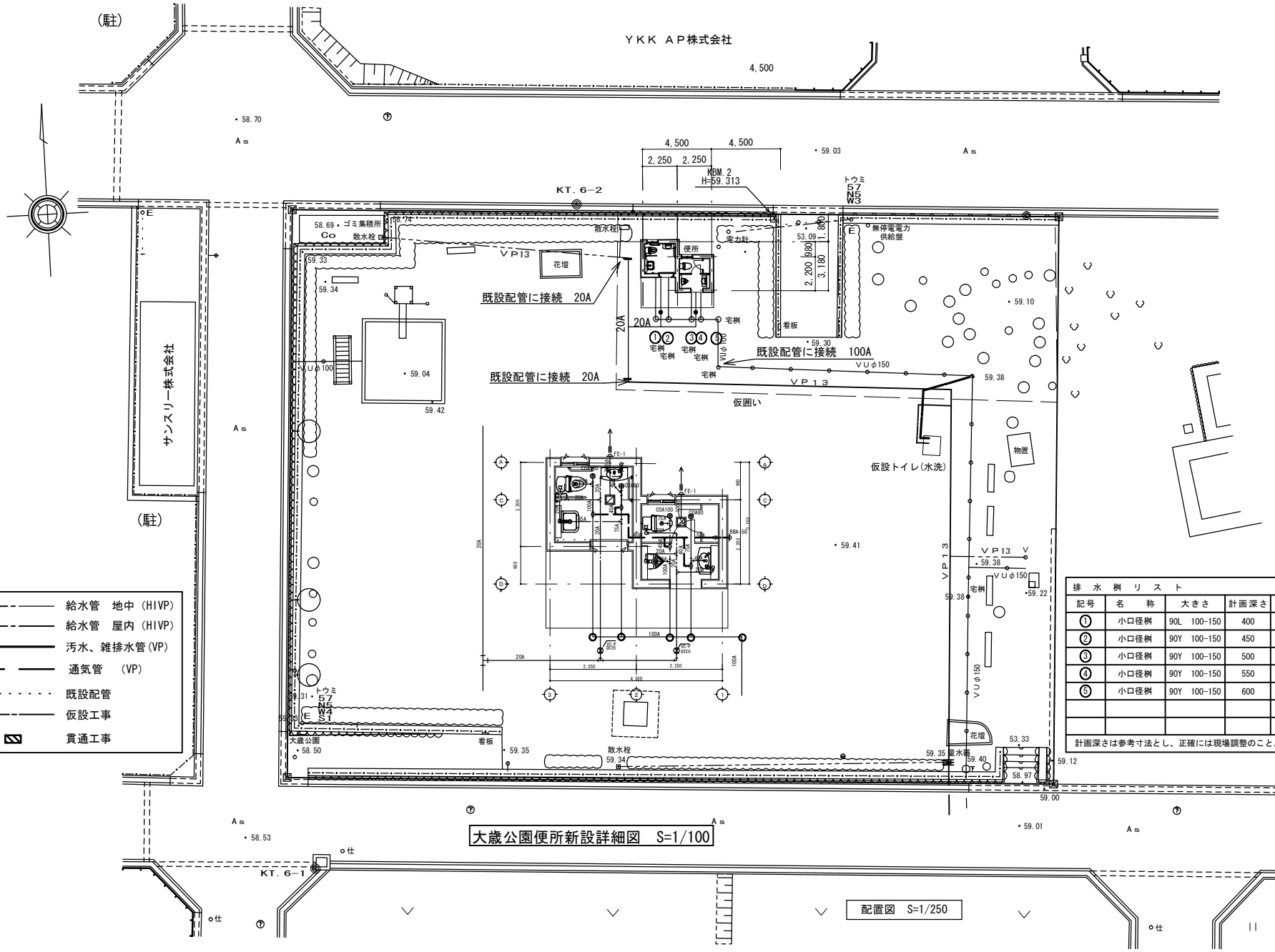
CONSTRUCTION NAME　平成25年度社会資本整備総合交付金事業（まち交）社市街地地区公園トイレ改築工事

PLAN NAME

No. M-01



株式会社 バンス 加西本店 1級建築士登録 第243480号 半澤 協		CHECKED BY	DESIGNED BY	DRAWN BY	SCALE 1/250 DATE 平成 年 月 日	CONSTRUCTION NAME 平成25年度社会資本整備総合交付金事業（まち交） 社市街地地区公園トイレ改築工事 PLAN NAME 現況撤去図	No. M-02



大歳公園便所新設詳細図 S=1/100

配置図 S=1/250

排水桝リスト

記号	名称	大きさ	計画深さ	計画GL	周囲GLより	摘要
①	小口径桝	90L 100−150	400	±0	400	小口径桝、塩ビ製桝蓋
②	小口径桝	90Y 100−150	450	±0	450	小口径桝、塩ビ製桝蓋
③	小口径桝	90Y 100−150	500	±0	500	小口径桝、塩ビ製桝蓋
④	小口径桝	90Y 100−150	550	±0	550	小口径桝、塩ビ製桝蓋
⑤	小口径桝	90Y 100−150	600	±0	600	小口径桝、塩ビ製桝蓋

計画深さは参考寸法とし、正確には現場調整のこと。

株式会社 バンス 加西本店
1級建築士登録 第243480号 半澤 協

CHECKED BY | DESIGNED BY | DRAWN BY

SCALE 1/250 1/100

DATE 平成 年 月 日

CONSTRUCTION NAME 平成25年度社会資本整備総合交付金事業（まち交）
社市街地地区公園トイレ改築工事

PLAN NAME 改修後配置、平面図

No. M-03